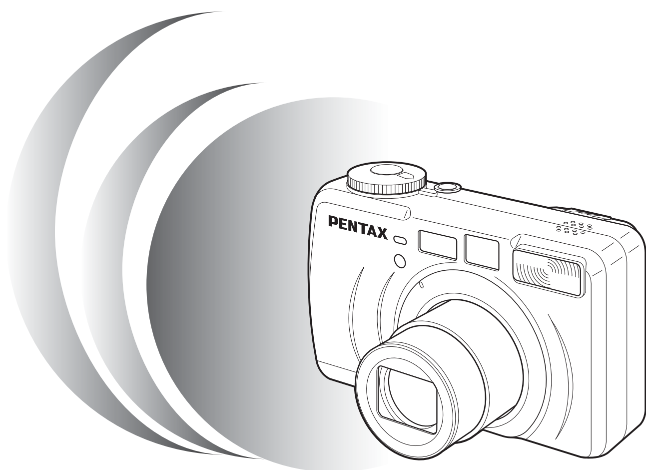
PENTAX®

デジタルカメラ

Optio 555

使用説明書





カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptio 555をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

SDロゴ SD は商標です。
PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。
オプティオおよびOptioはペンタックス株式会社の商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本製品はPRINT Image Matching IIに対応しています。PRINT Image Matching II対応プリンタでの出力及び対応ソフトウエアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。PRINT Image Matching及びPRINT Image Matching IIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

PictBridgeについて

「PictBridge」は、プリンタとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニタの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



警告　このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです



注意　このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

 **警告**

- カメラを分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- AC アダプタは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用下さい。専用品以外のACアダプタをご使用になったり、専用のACアダプタを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダプタを取り外したうえ、当社お客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- AC アダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損・火災・感電の原因となります。

 **注意**

- バッテリーをショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火のおそれがあります。
- 万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こした時は、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- ストロボ発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- バッテリーの液が眼に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。

取り扱い上の注意

- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用や逸失利益等）については、保証しかねます。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SD メモリーカード / マルチメディアカードの取り扱いについては、「SD メモリーカード/マルチメディアカード使用上の注意」（p.19）をご覧ください。
- 専用の充電式リチウムイオンバッテリーD-LI7以外のバッテリーは使用しないでください。他のバッテリーを使用すると、カメラが破損し、動作しなくなる場合があります。

目次

ご注意ください 3
取り扱い上の注意 4
目次 5
本書の構成 9
主な同梱品の確認 10
各部の名称 11
操作部の名称 12

準備 13

ストラップを取り付ける 13
電源を準備する 14
バッテリーを充電する 14
バッテリーをセットする 15
ACアダプタを使用する 17
SDメモリーカード/マルチメディアカードをセットする 18
電源をオン/オフする 20
再生専用モード 20
ファインダーの視度を調整する 21
初期設定をする 22
言語を設定する 22
日時を設定する 23

クイックスタート 26

静止画を撮影する 26
静止画を再生する 28
画像を再生する 28
前後の見たい画像を再生する 29
SDメモリーカード / マルチメディアカードの活用方法 30

機能共通操作 32

モードを切り替える 32
ボタンの機能を使用する 33
撮影モード時 33
再生モード時 35
MENUを使用する 36
メニューの操作方法 36
メニュー一覧 38

撮影 40

撮影情報を表示する（DISPLAYモード） 40
撮影のための機能を設定する 42
フォーカスの設定を変える 42
ストロボの発光方法を選択する 44
記録サイズを選択する 45
画質を選択する 46
ホワイトバランスを調整する 47
オートフォーカス範囲を設定する 49
測光範囲を設定する 50
感度を設定する 51
ストロボの光量を補正する 52
クイックビューの時間を設定する 53
シャープネスを設定する 53

彩度を設定する ... 54
コントラストを設定する ... 54
撮影する ... 55
露出をカメラにまかせて撮影する（プログラムモード）... 55
絞り値を設定して撮影する（絞り優先モード）... 56
シャッター速度を設定して撮影する（シャッター優先モード）... 57
マニュアルで設定して撮影する（マニュアル露出モード）... 58
好みの機能を登録して使用する（ユーザーモード）... 60
シーンにあわせた撮影をする（ピクチャーモード）... 62
パノラマ撮影をする（パノラマアシスト）... 64
3D写真を撮影する（3D撮影モード）... 66
デジタルフィルタを使って撮影する（デジタルフィルタモード）... 71
動画を撮影する（動画モード）... 73
音声を録音する（ボイスレコーディングモード）... 75
ズームを使って撮影する ... 76
露出を補正する ... 78
セルフタイマーを使って撮影する ... 79
リモコン（別売）を使って撮影する ... 80
連続して撮影する ... 81
設定した時間間隔で撮影する（インターバル撮影）... 82
撮影した画像の上に撮影する（多重露出）... 84
撮影条件を自動で変えて撮影する（オートブラケット）... 86
早送り動画を撮影する（早送り動画）... 88
設定を保存する ... 89
メニュー項目を保存する（モードメモリ）... 89

再生・消去 **91**

再生する ... 91
静止画を再生する ... 91
拡大して再生する ... 91
ボイスメモを付ける ... 92
動画を再生する ... 93
音声を再生する ... 94
再生時の情報を表示する（DISPLAYモード）... 95
9画像ずつ表示する ... 96
スライドショウで連続再生する ... 97
消去する ... 98
画像・音声を個々に消去する ... 98
まとめて消去する ... 100
消去できないようにする（プロテクト）... 101
テレビで画像を見る ... 102
プリントサービスの設定をする（DPOF）... 103
1画像ずつ設定する ... 103
全画像を設定する ... 105
カメラを直接プリンタにつないでプリントする ... 106
カメラをプリンタに接続する ... 106
1画像ずつプリントする ... 107
プリントサービスの設定内容でプリントする ... 107
プリンタからカメラを取り外す ... 108

画像の編集・設定 **109**

画像を編集する ... 109
画像のサイズを変更する ... 109
画像をトリミングする ... 111
デジタルフィルタを使って編集する ... 112
カメラの設定をする ... 114
SDメモリーカード/マルチメディアカードをフォーマットする ... 114
サウンドの設定を変更する ... 115

日付の表示スタイルを変更する......117
日付 / 時刻を変更する......118
ワールドタイムを設定する......118
起動画面を変更する......120
表示言語を変更する......121
ビデオ出力方式を選択する......121
スリープを設定する......122
オートパワーオフを設定する......122
クイック消去をオン / オフする......123
クイック拡大をオン / オフする......123
Fn設定をする......124
フォーカスリミットを設定する......126
設定をリセットする......127
決まった時刻にアラームを鳴らす......128
アラームを確認する......128
アラームを設定する......128
アラームを停止する......129

付録 **130**

都市名一覧......130
撮影モード別の設定可能な撮影機能メニュー......131
メニュー初期値一覧......132
メッセージ一覧......134
こんなときは？......136
主な仕様......138
別売りアクセサリー一覧......140
アフターサービスについて......141
ペンタックスピックアップリペアサービス......142

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行なってください。

クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。また、SDメモリーカード/マルチメディアカードの活用方法についてご案内しています。

機能共通操作

モードダイヤルや各ボタンの機能、メニューの使い方など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、「撮影」「再生・消去」「画像の編集・設定」の各章をご覧ください。

撮影

さまざまな撮影の方法や、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

再生・消去

カメラ・テレビでの再生の方法や消去のしかたを説明しています。

画像の編集・設定

撮影した画像の編集方法やカメラに関する機能の設定方法について説明します

付録

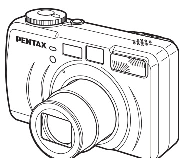
困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

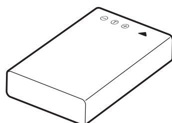
☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。
M, Tv, Av, P, PICT, 🎥, ▮■▮, 3D, ◐, USER, 🎙	タイトルの上に表示されたマークは、その機能が使える撮影モードを表します。 例） USER, M, Tv, Av, P, ▮■▮, 3D, ◐, 🎥 **シャープネスを設定する**

1
2
3
4
5
6
7

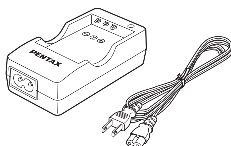
主な同梱品の確認



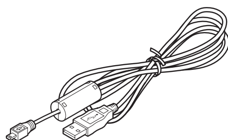
本体
Optio 555



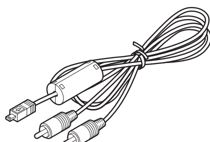
充電式リチウムイオンバッテリー
D-LI7（※）



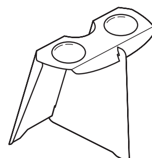
バッテリー充電器キット
K-BC7J（※）



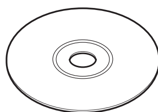
USBケーブル
I-USB7（※）



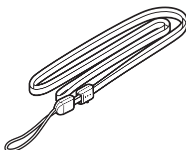
AVケーブル
I-AVC7（※）



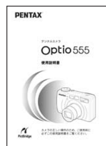
3Dイメージビュワー
O-3DV1



ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW13



ストラップ
O-ST5（※）



使用説明書
（本書）



使用説明書
（PC 接続編）

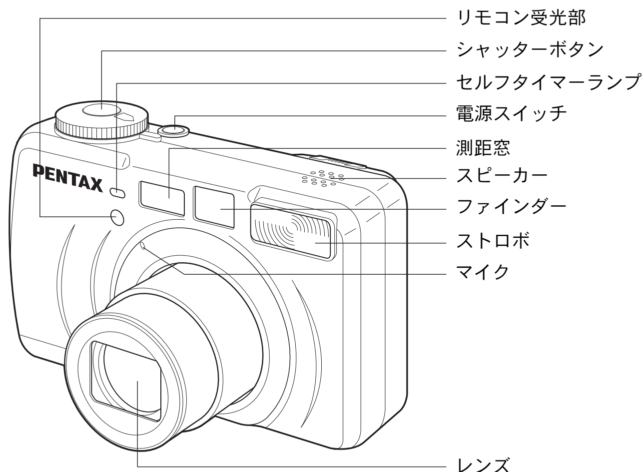


保証書

（※）の製品は、別売りアクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売りアクセサリーについては、「別売りアクセサリー一覧」（p.140）をご覧ください。

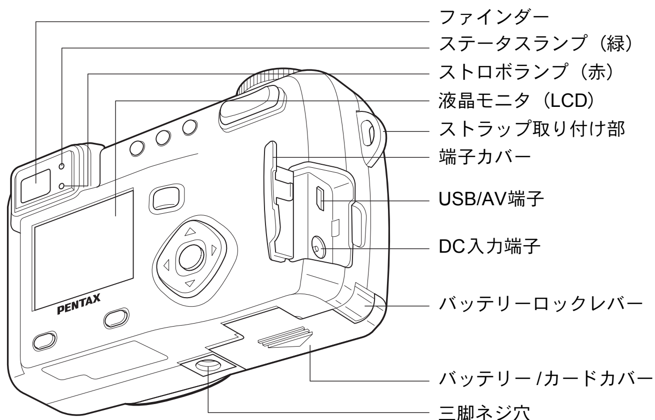
各部の名称

前面



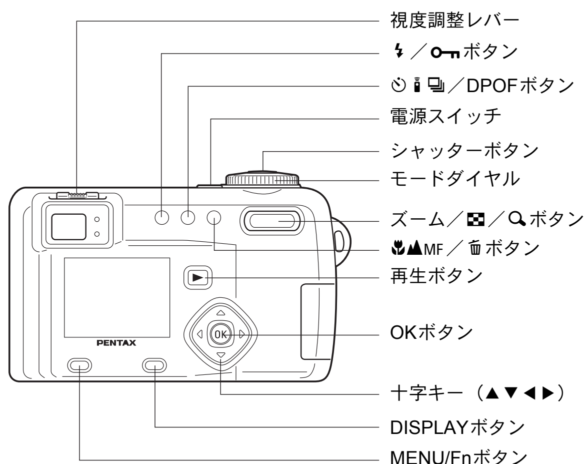
PENTAX
リモコン受光部
シャッターボタン
セルフタイマーランプ
電源スイッチ
測距窓
スピーカー
ファインダー
ストロボ
マイク
レンズ

背面



PENTAX
ファインダー
ステータスランプ（緑）
ストロボランプ（赤）
液晶モニタ（LCD）
ストラップ取り付け部
端子カバー
USB/AV端子
DC入力端子
バッテリーロックレバー
バッテリー/カードカバー
三脚ネジ穴

操作部の名称



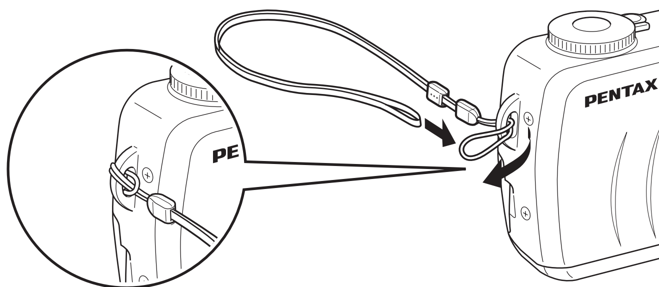
ガイド表示について

操作中は液晶モニタにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

十字キー（▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー（◀）	◀
十字キー（▶）	▶
MENU/Fnボタン	MENU
シャッターボタン	SHUTTER

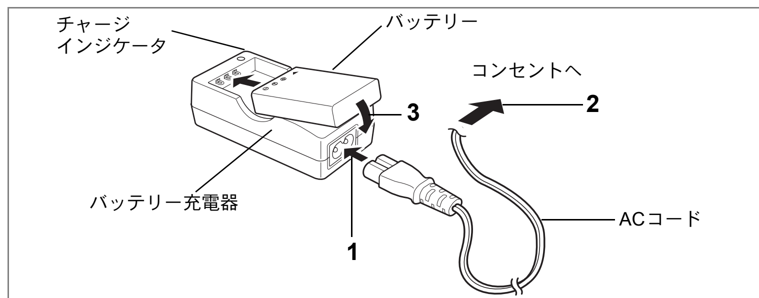
ズーム／▦／🔍ボタン (デジタルズーム、拡大再生時のみ)	🔍
DISPLAYボタン	DISP
DPOFボタン	DP
🗑ボタン	🗑
O┳ボタン	O┳
OKボタン	OK

ストラップを取り付ける



ストラップの細いひもを、ストラップ取り付け部に通して取り付けます。

電源を準備する



バッテリーを充電する

はじめてご使用になるときや、「電池容量が無くなりました」というメッセージが表示されたときは、バッテリーを充電してください。

1　バッテリー充電器にACコードを接続する

2　ACコードをコンセントに差し込む

3　バッテリーをラベルが上向きになるようにセットする

充電中はチャージインジケータが赤色に点灯します。
充電が完了すると、チャージインジケータが緑色に点灯します。

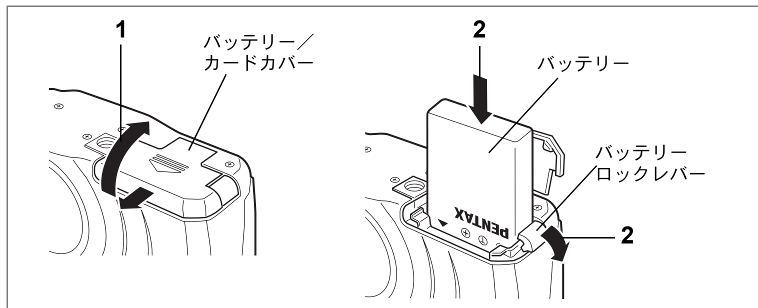
4　充電終了後、バッテリー充電器からバッテリーを取り出す



- 充電時間は、最大で約180分です。周囲の温度が0℃～40℃の範囲で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- バッテリーの寿命がくると、正しい充電を行なっても使用できる時間が短くなります。新しいバッテリーと交換してください



- お買い上げ時や長期間使わなかったバッテリーはご使用になる前に、必ず充電してください。
- 付属のバッテリー充電器キットK-BC7Jでは、専用の充電式リチウムイオンバッテリー D-LI7以外のバッテリーは充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因となります。
- バッテリーを正しい向きにセットしてもインジケータランプが点灯しない場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換してください。



バッテリーをセットする

同梱のバッテリーをセットします。はじめてご使用になるときは、バッテリーを充電してからセットしてください。

1 バッテリー／カードカバーを矢印の方向にずらして引き上げる

2 バッテリーのラベルをカメラのレンズ側に向け、バッテリーの側面でバッテリーロックレバーを矢印の方向に押しながら挿入する

バッテリーを挿入したら、バッテリーロックレバーがバッテリーにしっかりかかっていることを確認してください。

3 バッテリー／カードカバーを閉じる

バッテリーを取り出すときは、バッテリーロックレバーをバッテリー挿入時と同じ方向に手で押すとバッテリーが少し飛び出すので、バッテリーを引き抜いて取り出してください。



長時間連続してご使用になるときは、ACアダプタキット（K-AC7J、別売）をご使用ください。（p.17）



- 充電式リチウムイオンバッテリー D-LI7が、このカメラの専用バッテリーです。他のバッテリーを使用すると、カメラが破損し、作動しなくなることがあります。
- 電源スイッチがオンのときは、バッテリーを取り出さないでください。
- カメラを長時間使用しない場合は、バッテリーを取り出した状態で保管してください。
- バッテリーを長時間取り出していると、日時の設定がリセットされることがあります。
- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。

●使用時間の目安（専用バッテリー D-LI7フル充電時）

撮影可能枚数：約400枚（ストロボ使用率50%、液晶モニタオン）
再生時間　　：約210分



この数値は、当社の測定条件によるものです。撮影モード、撮影状況により異なります。



- 使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低くなることがあります。
- 海外旅行、寒冷地での撮影や写真をたくさん撮るときは、予備バッテリーをご用意ください。

●バッテリーの残量表示

液晶モニタに表示された▭で、バッテリーの残量を確認できます。

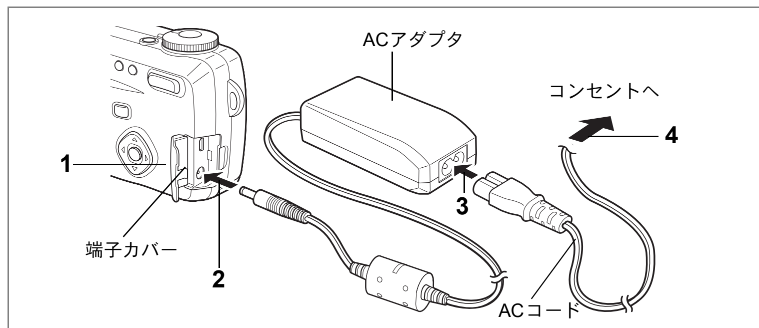
	（緑点灯）	：バッテリーがまだ十分に残っています。
		
	（緑点灯）	：少し減った状態
		
	（黄点灯）	：だいぶ減った状態
		
	（赤点灯）	：残量がほとんどありません。
		
「電池容量がなくなりました」		：メッセージの表示後、電源オフとなります。

●リサイクルについて



Li-ion

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。ご使用済みの小型充電式電池の廃棄に際しては、端子部に絶縁テープをはって、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



ACアダプタを使用する

液晶モニタを長時間ご使用になるときや、パソコンやプリンタと接続するときは、ACアダプタキットK-AC7J（別売）のご使用をおすすめします。

1　カメラの電源が切れていることを確認してから、端子カバーを開く

2　ACアダプタのDC端子を、カメラのDC入力端子に接続する

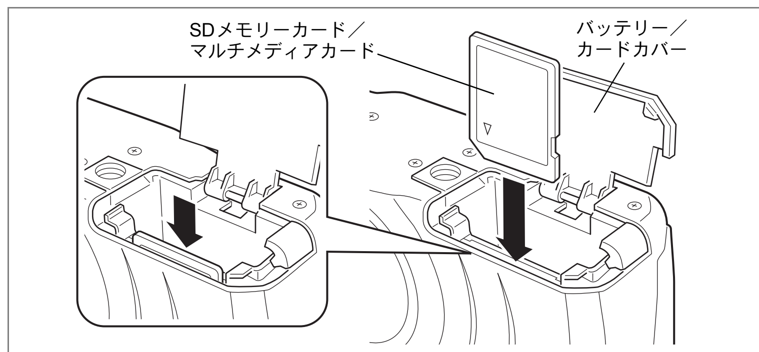
3　ACコードをACアダプタに接続する

4　コンセントに電源プラグを差し込む

注意

- ACアダプタを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行なってください。
- 電源および接続ケーブルは、しっかりと差し込んでください。記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプタをご使用になるときは、ACアダプタキットK-AC7Jの使用説明書をあわせてご覧ください。

SDメモリーカード/マルチメディアカードをセットする



このカメラで使用できるカードは、SDメモリーカードとマルチメディアカードです。撮影した画像や録音した音声は、SDメモリーカード／マルチメディアカードに記録されます。SDメモリーカード／マルチメディアカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

1　バッテリー／カードカバーを開ける

カバーの開け方は、p.15の手順1と同じです。

2　SDメモリーカード／マルチメディアカードのラベル（▲印のある）面をレンズ側に向け、カチッと音がするまでしっかり押し込む

カードがしっかり入っていないと、画像や音声が正常に記録されないことがあります。

3　バッテリー／カードカバーを閉じる

カードを取り出すときは、カードを矢印の方向に押し込むとカードが少し飛び出すので、カードを引き抜いて取り出して下さい。

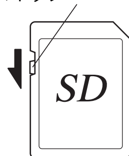
●記録サイズ/画質と撮影可能枚数の目安

画質 / 記録サイズ	TIFF	S.ファイン（★★★）	ファイン（★★）	エコノミー（★）	動画（320×240）	ボイスレコーディング
2592×1944	0枚	約4枚	約8枚	約14枚	約40秒	約30分
2048×1536	－	約7枚	約12枚	約18枚		
1600×1200	－	約11枚	約20枚	約27枚		
1024×768	－	約25枚	約45枚	約56枚		
640×480	－	約53枚	約82枚	約100枚		

- 表の数値は、16MBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数です。
- 「TIFF」は非圧縮データですので、16MBのSDメモリーカード／マルチメディアカードには記録できません。TIFFで撮影する場合は、32MB以上のSDメモリーカード／マルチメディアカードを使用ください。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

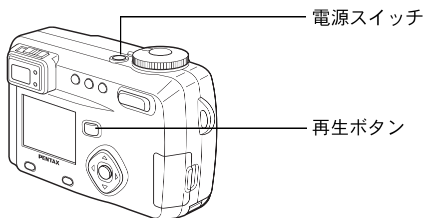
●SDメモリーカード／マルチメディアカード使用上の注意

- バッテリー／カードカバーを開けるときは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。
- パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットしたSDメモリーカード／マルチメディアカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。
- カメラ使用直後にSDメモリーカード／マルチメディアカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカード/マルチメディアカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカード/マルチメディアカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。



- 未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカード/マルチメディアカードをフォーマットする」（p.114）。
- SDメモリーカード/マルチメディアカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカード/マルチメディアカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 使用者がSDメモリーカード/マルチメディアカードの取り扱いを誤ったとき
- SDメモリーカード/マルチメディアカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
- 長期間カードを使用しなかったとき
- SDメモリーカード/マルチメディアカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、ACアダプタやバッテリーを抜いたとき
- SDメモリーカード/マルチメディアカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。

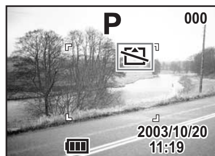
電源をオン/オフする



1　電源スイッチを押す

電源がオンになります。
電源をオンにすると、レンズカバーが開き、レンズが前に出ます。
もう一度電源スイッチを押すと、電源がオフになります。

カードチェックについて



電源をオンにすると、カードチェックが自動的に行われます。SDメモリーカード/マルチメディアカードがセットされていないと、液晶モニタに が表示されます。
またSDメモリーカードのライトプロテクトスイッチがLOCKになっていると、 のかわりに が表示され、画像や音声の記録ができなくなります。

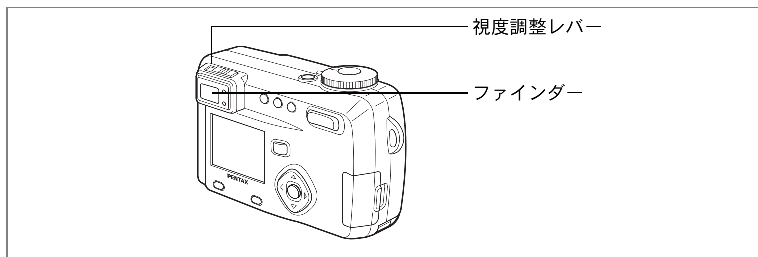
再生専用モード

再生ボタンを押しながら、電源をオンにすると、「再生専用モード」で起動します。

- 「再生専用モード」で起動させると、レンズは閉じたままで前に出てきません。
- 「再生専用モード」から「撮影モード」へ切り替えるには、一旦電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。

静止画を再生する ☞ p.26

ファインダーの視度を調整する

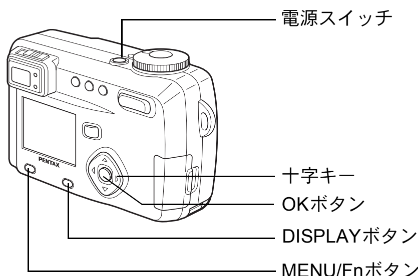


ファインダー内の表示が見えにくいとき、視度を調整します。視度は－3m^{-1}～＋1m^{-1}（毎メートル）の範囲で調節できます。

1 カメラを明るい方に向け、ファインダーをのぞきながら視度調整レバーを左右に動かす

カレンダーの文字など、輪郭のはっきりしたものに向けて合わせると、調整がしやすくなります。

初期設定をする



カメラの電源を入れたときに、以下のような画面が表示されたら、☞の手順に従って初期設定をしてください。

- Initial Setting（初期設定）の画面が表示された場合☞ p.22～p.23「言語を設定する」「日時を設定する」
- 日時設定の画面が表示された場合☞ p.23～p.24「日時を設定する」
- 液晶モニタの右下に表示された日時が、現在の時刻と異なる場合 ☞ p.117「日付の表示スタイルを変更する」、p.23～p.24「日時を設定する」

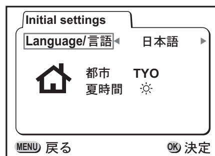
上記のような画面が表示されない場合は、初期設定をする必要はありません。

言語を設定する

使用する言語を日本語に設定します。

1　十字キー（◀▶）を押して、「日本語」を選ぶ

「日本語」を選んだときに右の画面が表示されていたら、手順**5**に進んでください。



2　十字キー（▼）を押す

緑の四角枠が「都市」に移動します。

3　十字キー（◀▶）を押して、TYO（東京）を表示させる

4　2, 3を繰り返して、☼を☼に設定する

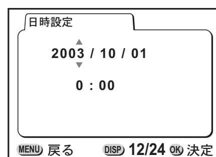
5　OKボタンを押す

日時を設定する画面が表示されます。

日時を設定する

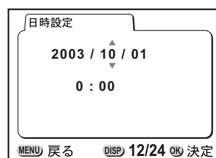
現在の日付と時刻を設定します。

1　十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する



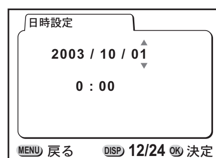
2　十字キー（▶）を押す

「月」の上下に▲▼が表示されます。



3　十字キー（▲▼）で月を設定し、十字キー（▶）を押す

「日」の上下に▲▼が表示されます。



4　3を繰り返して、「日」「時」「分」を設定する



5　DISPLAYボタンで「12時間/24時間表示」を切り替える



次ページへ☞

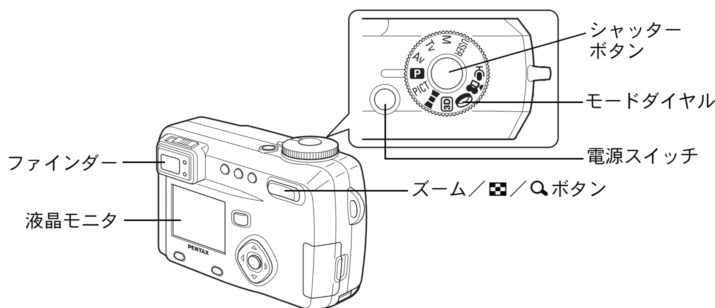
6　設定が終了したら、OKボタンを押す

撮影できる状態になります。メニュー操作で設定した場合はメニュー画面に戻りますので、もう一度OKボタンを押してください。



- 設定終了後、時報などに合わせて OK ボタンを押すと、0 秒にセットされます。
- 初期設定の途中でMENU/Fnボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。
- ここで設定した内容は、設定後メニュー操作で変更することができます。メニューの呼び出し方は「日付／時刻を変更する」(p.118）をご覧ください。

静止画を撮影する



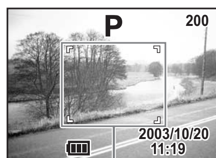
簡単に静止画を撮影します。ストロボは明るさに応じて自動的に発光します。

1　電源スイッチを押す

電源がオンになります。

2　モードダイヤルをⓅに合わせる

3　液晶モニタを見る



フォーカスエリア

液晶モニタの中央のフォーカスエリアの中が、自動でピントが合う範囲です。ズームボタンを押すと被写体の大きさが変わります。

♠　被写体が大きく写ります。
♠♠♠　被写体が小さく写ります。

ファインダーをのぞいて、被写体の大きさを確認することができます。



フォーカスエリアはファインダー内には表示されません。ピントを合わせる範囲は、必ず液晶モニタで確認してください。

4　シャッターボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに2秒間表示（クイックビュー）されます。撮影した画像はSDメモリーカード/マルチメディアカードに保存されます（SDメモリーカード/マルチメディアカードに保存中はファインダー横の緑と赤のランプが交互に点滅します）。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

●半押し

シャッターボタンを軽く押すと（半押し）、ピント位置、露出がロックされます。半押ししている間だけロックは保たれ、シャッター速度、絞り値が表示されます。液晶モニタやステータスランプ、ストロボランプは次のような情報を表します。

1 フォーカスエリア

ピントが合うと枠が緑色に点灯します。ピントが合っていないときは表示されません。

2 ステータスランプとストロボランプ

	ステータスランプ（緑）	ストロボランプ（赤）
点灯	ピントが合っています	ストロボ発光表示
点滅	ピントが合っていません	充電中

ストロボ充電中は撮影できません。ピントが合わない場合は、手動でピントを合わせて撮影してください。

手動でピントを合わせる ☞ p.43

●全押し

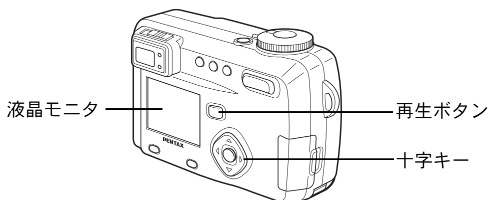
シャッターボタンを下まで押すと（全押し）、撮影されます。

クイックビュー

撮影直後に画像が表示される「クイックビュー」は、初期設定では2秒間表示されます。クイックビュー表示中に 🗑 ボタンを押すと、「消去」メニューが表示されます。「消去」を選び、OKボタンを押すとその画像を消去することができます。また、クイックビュー表示中にOKボタンを押すと、音声の録音（ボイスメモ）が開始します。再度OKボタンを押すと、録音が停止します。

クイックビューの表示時間を設定する ☞ p.53

静止画を再生する



画像を再生する

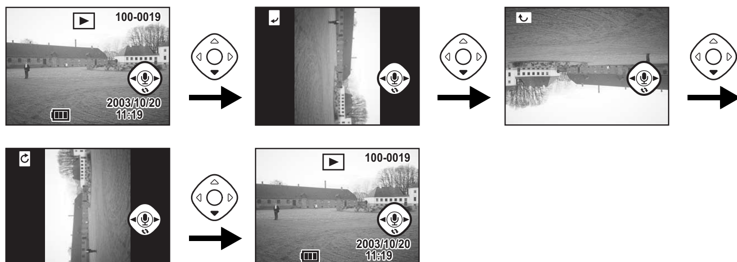
静止画を再生します。

1　撮影後に再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

表示した画像をを回転させるには

画像表示中に十字キー（▼）を押すたびに、時計方向に９０度ずつ画像が回転します。





- 動画は回転させることができません。
- ボイスメモの再生中は、画像を回転させることができません。

前後の見たい画像を再生する

静止画を前後に一枚ずつ送って再生します。

1　撮影後に再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

 前の画像が表示されます。

 次の画像が表示されます。

表示した画像を消去するには

画像表示中 🗑 ボタンを押すと、消去画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」（🗑）を選び、OKボタンを押すとこの画像を消去することができます。
再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、撮影できる状態に戻ります。

ファイルNo.





- 再生画面に切り替えると「ファイルNo.」の数字の最も大きい画像が最初に表示されます。
- 液晶モニタに表示された画像は、ズーム／⊞／🔍ボタンで拡大して見ることもできます。
- 再生ボタンを押しながら電源をオンにすると、再生専用モードで起動します。再生専用モードではレンズが前に出ないで起動するので、その場で他の人に画像を見てもらうときに、レンズに触ることなく、安心して見ることができます。「撮影モード」に切り替えるには、一旦電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。
- 動画は、1コマ目の画像が表示されます。
- 画像が保存されていないときは、「画像・音声がありません」と表示されます。

拡大して再生する ☞ p.91
ボイスメモを付ける ☞ p.92

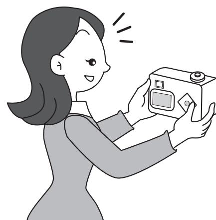
SDメモリーカード／マルチメディアカードの活用方法

このカメラで撮影した画像はSDメモリーカード/マルチメディアカードに記録されます。SDメモリーカード/マルチメディアカードに記録された画像は、カメラ本体で見たり、パソコンに転送したり、プリントしたりできます。



カメラで見る

デジタルカメラの便利なところは、撮ったその場ですぐに画像を確認できること。構図やピントなどを確認して、失敗してもまた撮り直しできます。



再生する ☞ 本書 p.93～

テレビで見る

みんなでわいわい見るときは、テレビ再生が便利。AVケーブルでカメラをテレビに接続すると、画像をテレビ画面で見ることができます。

テレビで画像を見る ☞ 本書 p.102



パソコンで見る



カメラをパソコンにUSBケーブルで接続して、画像を読み込ませるだけで、撮った画像をパソコンで見たり加工したりできます（Windows98/98SEの場合のみUSBドライバのインストールが必要です）。
また、カメラからSDメモリーカード/マルチメディアカードを取り出してカードリーダなどを使ってデータを転送することもできます。

Pict Bridgeに対応したプリンターがあれば、USBケーブルでカメラをプリンターに直接つないで、写真をプリントすることができます。

カメラを直接プリンターにつないでプリントする⇒（本書）p.106
デジタルカメラ撮影からプリント出力までの流れ⇒（PC接続編）P.4～5

プリントサービスで見る

画像を記録したSDメモリーカード/マルチメディアカードをプリント取扱い店に持っていくと、従来の写真と同様にプリント注文できます。
あらかじめDPOF(Digital Print Order Format)の設定をしてからDPOF対応のプリント取扱い店に持っていくと、プリント枚数を指定したり、写真に日付を入れることができます。



プリントサービスの設定をする（DPOF）☞ 本書 p.103

モードを切り替える

撮影や音声の録音ができる状態を撮影モード、再生や消去ができる状態を再生モードといいます。

撮影モードと再生モードを切り替える

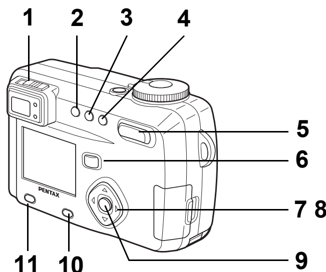
- 撮影モードから再生モードへは、再生ボタンを押して切り替えます。
- 再生モードから撮影モードへは、再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しして切り替えます。

撮影モードを選ぶ

1 モードダイヤルを回して、指標にUSER M Tv Av P PICT (パノラマ) 3D (デジタルフィルタ) (動画) (ボイス)のいずれかを合わせる

USER	ユーザー	各種の機能を設定しておくと、電源を入れるたびにその設定で動作します。	p.60
M	マニュアル露出	シャッター速度と絞りをマニュアルで設定して撮影します。	p.58
Tv	シャッター優先	シャター速度はマニュアルで設定し、絞りはカメラが自動的に設定して撮影します。	p.57
Av	絞り優先	絞りはマニュアルで設定し、シャッター速度をカメラが自動的に設定して撮影します。	p.56
P	プログラム	シャッター速度と絞りをカメラが自動的に設定して静止画を撮影します。	p.55
PICT	ピクチャー	撮影するシーンにあわせた設定で撮影します。	p.62
(パノラマ)	パノラマアシスト	パノラマ撮影をします。	p.64
3D	3D撮影	3D画像を撮影します。	p.66
(デジタルフィルタ)	デジタルフィルタ	赤、青、緑などさまざまな画像フィルタを使用して画像を撮影します。	p.71
(動画)	動画	動画を撮影します（音声も記録されます）。	p.73
(ボイス)	ボイスレコーディング	音声を記録します。	p.75

ボタンの機能を使用する



撮影モード時

1　視度調整レバー

視力に合わせてファインダーの視度を調整します。（☞p.21）

2　⚡ボタン

ストロボの発光方式を切り替えます。（☞ p.44）

3　セルフタイマー/リモコン/連続撮影ボタン

撮影方法を次のように切り替えます。
セルフタイマー撮影（☞ p.79）
リモコン撮影（☞ p.80）
連続撮影（☞ p.81）
多重露出撮影（☞ p.84）
インターバル撮影（☞ p.82）
＊撮影モードがパノラマ 3D 動画のときは、連続撮影、インターバル撮影、多重露出はスキップされます。

4　マクロ/遠景/MFボタン

フォーカスモードを切り替えます。（☞ p.42）

5　ズームボタン

被写体の大きさを変えます。（☞ p.76）

6　再生ボタン

再生モードに切り替えます。（☞ p.35）

7　十字キー（◀▶）

M 🎙以外のモードで露出補正をします。（☞ p.78）
Mモードでシャッター速度を設定します。（☞ p.58）

8　十字キー（▲▼）

MF モードでピントを調整します。（☞ p.43）
M Av モードで絞り値を設定します。（☞ p.56、58）
Tv モードでシャッター速度を設定します。（☞ p.57）
◐ モードでフィルタの種類を選びます。（☞ p.71）
PICT モードでピクチャーモードを選びます。（☞ p.62）

9　OKボタン

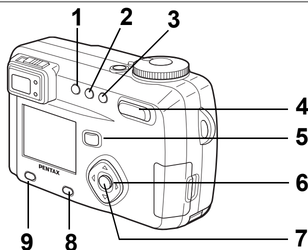
メニュー項目を決定します。（☞ p.36）
MF モード時にOKボタンを押すと、十字キー（▲▼）の機能がモードダイヤルに応じた機能に戻ります。

10　DISPLAYボタン

液晶モニタに表示される情報を切り替えます。（☞ p.40）

11　MENU/Fnボタン

撮影モードで設定できるメニューを表示したり、十字キーに登録した機能を呼び出します。（☞ p.36、125）



再生モード時

1 O-π ボタン

画像を消去できないようにします。（☞ p.101）

2 DPOFボタン

プリントサービスのための設定をします。（☞ p.103）

3 🗑 ボタン

画像を消去します。（☞ p.98）

4 ズーム/⊞/🔍ボタン

「通常再生」時に⊞を押すと、一度に9画像を表示します。（☞ p.96）
「通常再生」時に🔍を押すと、液晶モニタに表示される画像の大きさを変えることができます。（☞ p.91）

5 再生ボタン

撮影モードに切り替えます。（☞ p.32）

6 十字キー（◀▶）

前後の見たい画像を表示します。（☞ p.29）

7 OKボタン

メニューで選択した機能を保存します。（☞ p.36）
「通常再生」時にOKボタンを押すとボイスメモが開始し、もう一度押すと、ボイスメモが終了します。（☞ p.92）
「拡大再生」「９画像表示」時にOKボタンを押すと、「通常再生」の画面に切り替わります。（☞ p.91、96）

8 DISPLAYボタン

液晶モニタに表示される情報を切り替えます。（☞ p.95）

9 MENU/Fnボタン

再生モードで設定できるメニューを表示します。（☞ p.36）

MENUを使用する

MENU/Fnボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。メニューを使用して、機能の設定や設定した内容をメモリ（保存）したり、カメラの設定を変更することができます。

メニューの操作方法

メニュー操作中は、液晶モニタにガイドが表示されます。

1　MENU/Fnボタンを押す

メニュー画面が表示されます。選択されている部分は緑のアンダーラインで表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

十字キー（◀▶）でメニュー画面が切り替わります。

3　十字キー（▲▼）で項目を選択する

十字キー（▲▼）で選択枠が上下に移動します。

4　十字キー（◀▶）で設定を切り替える

4’　または選択画面があるときは、十字キー（▶）で選択画面に移行する

5　OKボタンを押す

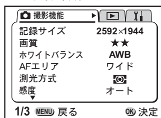
設定が保存され、撮影または再生できる状態に戻ります。
ここでメニュー画面に戻っていたら、もう一度OKボタンを押します。

- OKボタンを押して設定を保存する前に、OKボタン以外のボタンを押してメニュー画面を閉じると、設定は保存されません。
- OK ボタンを押してメニュー画面を閉じても、電源をオンにしたままバッテリーを取り出したりするなど誤った操作で電源をオフすると設定は保存されません。

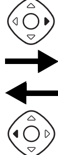
操作の一例

1 Menu/Fnボタン

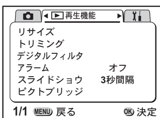
「撮影機能」メニュー



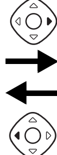
2



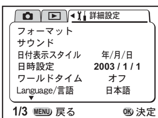
「再生機能」メニュー



2

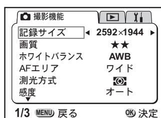


「詳細設定」メニュー

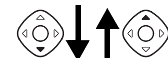


3



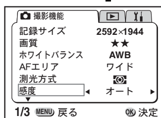


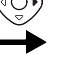
3



4



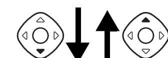






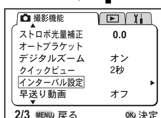


3



4'

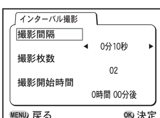




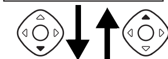




選択画面



3



次のメニュー画面



- メニュー表示中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードに切り替わりますが、設定は保存されません。
- 撮影モードからメニューを表示させると「撮影機能」メニューが表示され、再生モードからメニューを表示させると「再生機能」メニューが表示されます。

メニュー一覧

メニュー初期値一覧と撮影モード別の設定可能な撮影機能メニューについては、p.146からp.148をご覧ください。

●「撮影機能」メニュー

項目	内容	参照
記録サイズ	画像の記録画素数が選べます	p.45
画質	画像の圧縮率が選べます	p.46
ホワイトバランス	撮影時の光の状態に合わせて色を調整します	p.47
AFエリア	オートフォーカスの対象になる範囲を変更します	p.49
測光方式	露出を決定する測光方式を設定します	p.50
感度	感度を設定します	p.51
ストロボ光量補正	背景の明るさを変えずにストロボの光量だけを変えることができます	p.52
オートブラケット	露出や彩度など撮影条件を自動的に変えて撮影します	p.86
デジタルズーム	デジタルズームを使用するか使用しないかを設定します	p.77
クイックビュー	クイックビューの表示時間を設定します	p.53
インターバル撮影	設定した時間間隔で撮影します	p.82
早送り動画	フレームレートを遅らせて動画を撮影します（早送りのように再生されます）	p.88
立体視法	3D写真の鑑賞方法を設定します	p.66
モードメモリ	電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリします	p.89
シャープネス	シャープネスを設定します	p.53
彩度	彩度を設定します	p.54
コントラスト	コントラストを設定します	p.54
USER	ユーザーモードに登録する撮影モードを設定します	p.61

●「再生機能」メニュー

項目	内容	参照
リサイズ	画像のサイズを変更します	p.109
トリミング	画像をトリミングします	p.111
デジタルフィルタ	撮影した画像を赤、青、緑などの画像フィルタを用いて加工します	p.112
アラーム	決まった時刻にアラームを鳴らします	p.128
スライドショウ	保存された画像を連続して再生します	p.97
ピクトブリッジ	カメラとプリンタを直接つないで印刷します	p.106

●「詳細設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカード/マルチメディアカードをフォーマットします	p.114
サウンド	ボタン操作音、起動音、シャッター音の音量や種類を設定します	p.115
日付表示スタイル	日付の表示形式を設定します	p.117
日時設定	日付/時刻を設定します	p.118
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します	p.118
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます	p.121
起動画面表示	電源を入れたときの起動画面を設定します	p.120
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します	p.121
スリープ	節電機能を設定します	p.122
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるようにします	p.122
クイック消去	オンに設定すると「消去」「全画像・音声消去」が選択された状態で消去画が表示されます	p.123
クイック拡大	ズームボタンを一度操作するだけで画像を設定した倍率で再生するように設定します	p.123
Fn設定	十字キーに機能を登録します	p.124
フォーカスリミット	通常撮影やマクロ撮影時のレンズ移動を制限するかしないかを切り換えます	p.126
リセット	設定を初期値に戻します	p.127

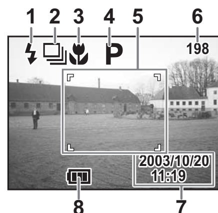
撮影情報を表示する（DISPLAYモード）

DISPLYボタンを押すたびに、液晶モニタの表示が切り替わります。

DISPLAYオン

電源をオンしたときに表示される状態です。撮影情報を表示します。

1 ストロボ　2 ドライブモード
3 フォーカスモード　4 撮影モード
5 AFエリア　6 撮影可能残量
7 日時　8 バッテリーマーク



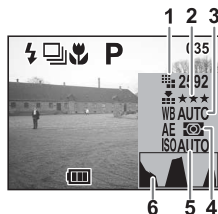


ヒストグラム表示

明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1 記録サイズ　2 画質
3 ホワイトバランス　4 測光方式
5 感度　6 ヒストグラム

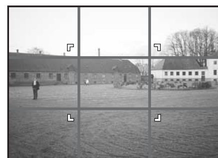
- オートフォーカス時には、ＡＦエリア枠が表示されます。





グリッド線表示

グリッド線を表示します。緻密な構図決定をするときに便利です。
・オートフォーカス時には、ＡＦ エリア枠が表示されます。



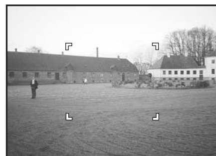


次ページへ

DISPLAYオフ

撮影情報を表示しません。

- オートフォーカス時には、AFエリア枠が表示されます。
- 設定を変更したときは、数秒間、設定内容を表示します。





液晶モニタオフ

液晶モニタをオフにします。（再生モードでは、液晶モニタオフにはなりません。）





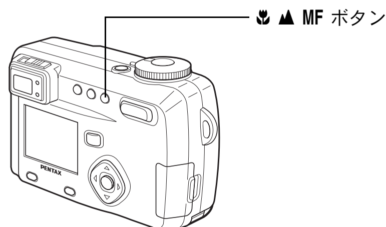
DISPLAYオン

注意

では液晶モニタオフにはなりません。

DISPLAYモードの設定を保存する ☞ p.89

撮影のための機能を設定する



フォーカスの設定を変える

●フォーカスモード

（表示なし）	オートフォーカスモード	シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。被写体までの距離が60cm以上のときに使用します。
(マクロアイコン)	マクロモード	被写体までの距離が約15cm～65cmのときに使用します。
(スーパーマクロアイコン)	スーパーマクロモード	被写体までの距離が約2cm～65cmのときに使用します。
▲	遠景モード	遠くにあるものを撮影するときに使用します。
MF	マニュアルフォーカスモード	手動でピントを合わせます。（▲▼）
(AFエリア移動アイコン)	AFエリア移動	オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）の位置を変更します。

1　撮影モードで ▲ MF ボタンを押す

押すたびにフォーカスモードが切り替わり、設定値が液晶モニタに表示されます。
設定したフォーカスモードで撮影できます。



- フォーカスモードの初期値は「オートフォーカスモード」です。
- スーパーマクロモード」では、ズームが広角側に固定されます。
- 「動画モード」（☞ p.73）では固定焦点になりますので、フォーカスモードは選択できません。
- 「マクロモード」でストロボを使用すると、露出オーバーになったり、画面の右下にケラレが発生することがあります。
- 「スーパーマクロモード」「遠景モード」ではストロボは発光しません。

注意 フォーカスモードを「マクロモード」、「スーパーマクロモード」に設定しているときは、ファインダーを見ながら撮影すると、撮影範囲がずれます。必ず液晶モニタで確認してください。

マニュアルでフォーカスを設定する

MFに設定して十字キー（▲▼）を押すと、画面中央部が液晶モニタいっぱいに拡大表示されます。表示されたモニタ画像を見ながら、十字キーでピントをあわせます。

（▲）遠くにピントが合います。

（▼）近くにピントが合います。

フォーカス位置が決まったら、十字キー（▲▼）以外のボタンを押すか、または十字キー（▲▼）から指を離して約2秒たつと、通常の撮影画面に切り替わります。



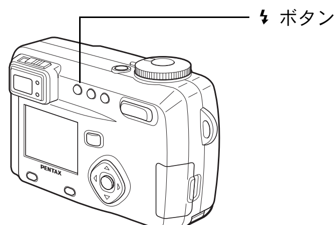
- 設定しているときに、十字キー（▲▼）を押し続けると、速くピント合わせができます。
- デジタルズームで最大倍率付近では拡大表示されません。

フォーカスモードを保存する ☞ p.89

●ピント合わせの苦手な条件

写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときは一旦撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 横線のみや細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光（周辺が特に明るい場合）



ストロボの発光方法を選択する

（表示なし）	オート	暗い場所や逆光での撮影時に自動的にストロボを発光します。
⊛	発光禁止	常にストロボは発光しません。
ϟ	強制発光	常にストロボを発光します。
👁A	オート＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
👁ϟ	強制発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。常にストロボを発光します。



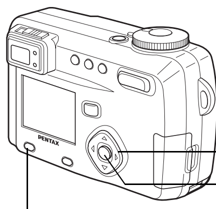
- 撮影モードが**M**にセットされているときは、「オート」および「オート＋赤目軽減」は選択できません。
- 撮影モードが 🎥 にセットされているか、連続撮影、または遠景モードおよびスーパーマクロモード、ピクチャーモードの「花火」に設定されているときは、常に発光禁止になります。
- ストロボ撮影時には、測光のための補助光として撮影前に必ずストロボを一度発光させます。
- 「オート＋赤目軽減」または「強制発光＋赤目軽減」では、撮影の前に、瞳を小さくさせるためにストロボを一度発光させ、少し間をおいてからストロボ撮影をします。

1　撮影モードで ϟ ボタンを押す

押すたびに発光方法が切り替わり、マークが液晶モニタに表示されます。設定したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

ステータスランプとストロボランプの状態 ☞ p.27
ストロボ発光方法を保存する ☞ p.89

4 撮影







USER M Tv Av P PICT 3D

記録サイズを選択する

画像の記録画素数を「2592 × 1944」「2048 × 1536」「1600 × 1200」「1024×768」「640×480」から選べます。

1 「撮影機能」メニューの「記録サイズ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で記録サイズを切り替える

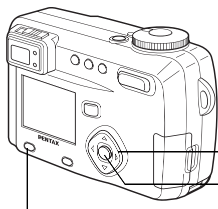
3 OKボタンを押す

撮影ができる状態になります。

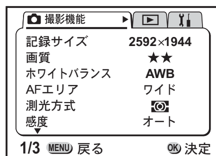




- 動画モードでは「320×240」に固定されます。
- 記録サイズを大きくすると、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。
- 記録サイズを小さくすると、データの容量が小さくなるので、電子メールの添付画像やホームページ用の画像に有利です。







USER M Tv Av P PICT 3D

画質を選択する

画像の圧縮率が選べます。

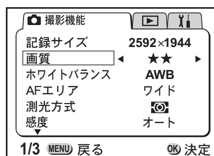
TIFF	TIFF	• 画像を非圧縮データとして記録します。プリントやパソコンで画像を加工するのに最適です。
★★★	S.ファイン	• 圧縮率が低い（★の数が多い）ほど画質はきれいになりますが、画像の容量は大きく、撮影できる枚数が少なくなります。 • 圧縮率が高い（★の数が少ない）ほど画像の容量は小さくなり、撮影できる枚数を多くできますが、画質は粗くなります。
★★	ファイン	
★	エコノミー	

1 「撮影機能」メニューの「画質」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で画質を切り替える

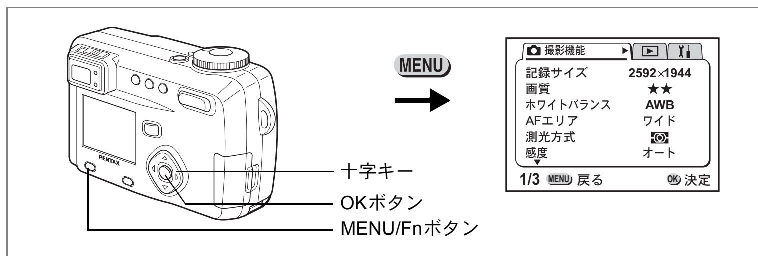
3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。





• 「TIFF」で撮影できる記録サイズは「2592×1944」のみです。
• 記録サイズが「2592 × 1944」以外に設定されているときに「TIFF」を選択すると、記録サイズは「2592×1944」に切り替わります。



USER M Tv Av P 3D

ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて画像を自然な色あいに調整できます。

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
☼	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
	蛍光灯	蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。蛍光灯の種類によって、W（白色（4200°K）*の蛍光灯）、N（昼白色（5000°K）*の蛍光灯）、D（昼光色（6500°K）*の蛍光灯）が選択できます。
	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。

＊色温度（°K）は目安です。正確な色を示すものではありません。

1 「撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」を選ぶ

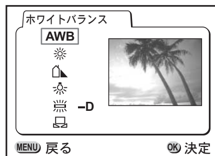
2 十字キー（▶）を押す

ホワイトバランス選択画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で設定を切り替える

4 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

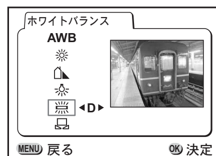


ホワイトバランスを保存する ☞ p.89

蛍（蛍光灯）の種類を設定する

1 ホワイトバランス選択画面で蛍（蛍光灯）を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「W」「N」「D」を切り替える



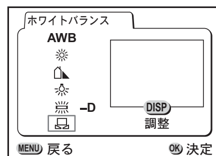
3 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

マニュアルで設定する

1 ホワイトバランス選択画面で（マニュアル）を選ぶ

2 白い紙等を画面いっぱいに入れる

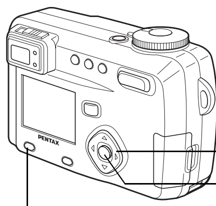


3 DISPLAYボタンを押す

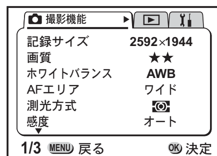
ホワイトバランスが自動調整されると、液晶モニタに「完了」と表示され、メニュー画面に戻ります。

4 OKボタンを押す

撮影できる状態に戻ります。







USER M Tv Av P PICT 3D

オートフォーカス範囲を設定する

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を変更できます。

ワイド	通常範囲
スポット	フォーカスが合う範囲を狭くします

1 「撮影機能」メニューの「AFエリア」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）でAFエリアを切り替える

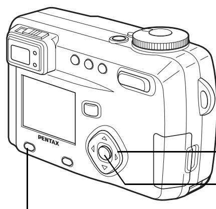


3 OKボタンを押す

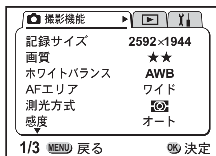
撮影できる状態に戻ります。



AFエリアは、ファインダー内には表示されません。ピントを合わせる範囲は、必ず液晶モニタで確認してください。







USER M Tv Av P PICT 3D

測光範囲を設定する

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。

	分割	画面全体をきめ細かく測光して露出を決定します。
	中央部重点	画面中央を重点的に測光して露出を決定します。
	スポット	画面の中央のみを測光して露出を決定します。

1　「撮影機能」メニューの「測光方式」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で測光方式を切り替える

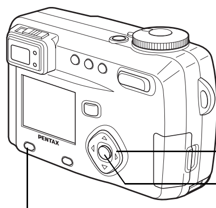


3　OKボタンを押す

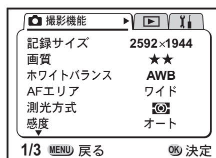
撮影できる状態になります。

測光方式を保存する ☞ p.89

4 撮影







USER M Tv Av P PICT 3D

感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定することができます。

●感度

オート	設定をカメラにまかせます
64	• 感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ないシャープな画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 • 感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッター速度を速くできます。画像にはノイズが増えます。
100	
200	
400	

1　「撮影機能」メニューの「感度」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で感度値を切り替える

3　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

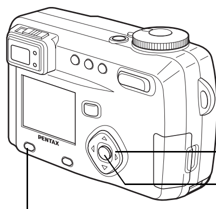




「マニュアル露出モード」では「オート」は選択されません。

感度を保存する ☞ p.89

4 撮影







USER M Tv Av P PICT 3D

ストロボの光量を補正する

背景の明るさを変えずに、ストロボの光量だけを変えることができます。

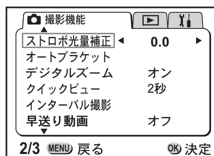
1 「撮影機能」メニューの「ストロボ光量補正」を選ぶ

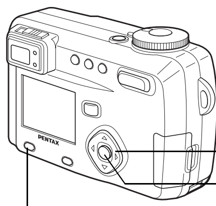
2 十字キー（◀▶）で補正量を切り替える

◀ 光量をマイナス方向に設定します。
▶ 光量をプラス方向に設定します。

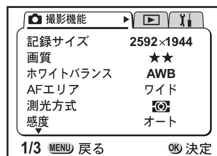
3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。









USER M Tv Av P PICT 3D

クイックビューの時間を設定する

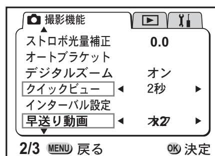
クイックビューの表示時間を0.5秒、1秒、2秒、3秒、4秒、5秒、オフ（表示しない）から選べます。

1 「撮影機能」メニューの「クイックビュー」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で表示時間を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



USER M Tv Av P 3D

シャープネスを設定する

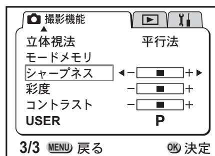
画像の輪郭をシャープまたはソフトにします。

1 「撮影機能」メニューの「シャープネス」を選ぶ

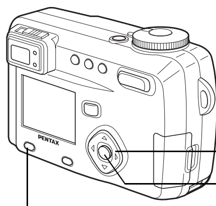
2 十字キー（◀▶）で「強（+）」「標準」「弱（−）」を切り替える

3 OKボタンを押す

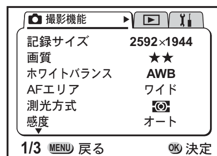
撮影できる状態になります。



4 撮影







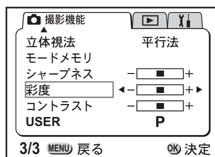
USER M Tv Av P 3D

彩度を設定する

色の鮮やかさを設定します。

1 「撮影機能」メニューの「彩度」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「高い（+）」「標準」「低い（–）」を切り替える



3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

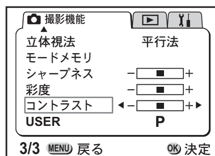
USER M Tv Av P 3D

コントラストを設定する

画像の明暗差を設定します。

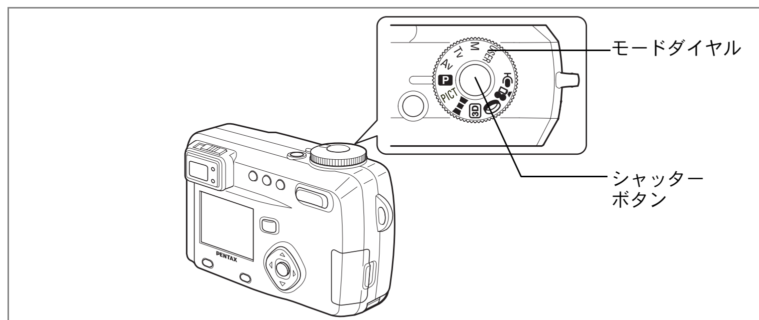
1 「撮影機能」メニューの「コントラスト」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「高い（+）」「標準」「低い（–）」を切り替える



3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



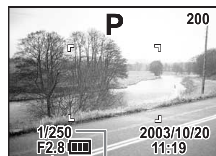
露出をカメラにまかせて撮影する（プログラムモード）

シャッター速度と絞りをカメラが自動的に設定して静止画を撮影します。ストロボの発光方式や連続撮影などその他の機能は自由に設定できます。

1　モードダイヤルを P に合わせる

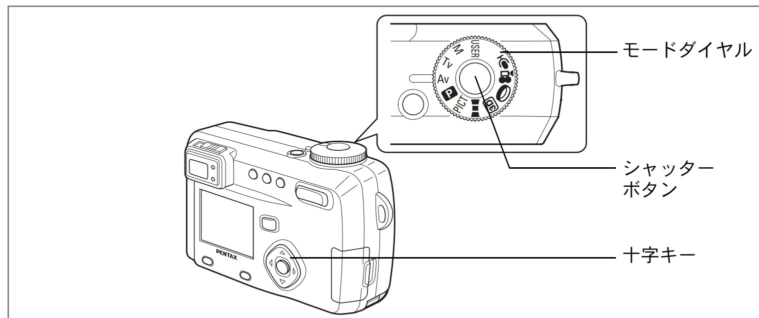
2　シャッターボタンを押す

撮影されます。



絞り値　シャッター速度

シャッターボタンの押しかた p.27
静止画を再生する ☞ p.28



絞り値を設定して撮影する（絞り優先モード）

絞り値はマニュアルで設定し、シャッター速度はカメラが自動的に設定して撮影します。

1　モードダイヤルをAvに合わせる

2　十字キー（▲▼）を押して絞り値を設定する

▲絞りが開き（数値が小さくなり）ます。
▼絞りが絞られ（数値が大きくなり）ます。



絞り値

3　シャッターボタンを押す

撮影されます。

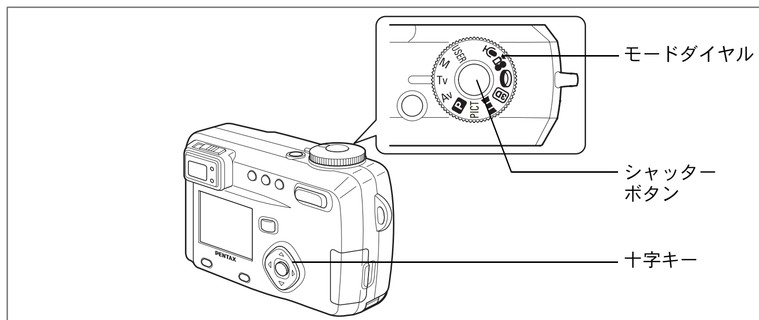
静止画を再生する ☞ p.28



絞り値は、電源をオフにしても保存されます。

注意

- フォーカスモードを「マニュアルフォーカスモード」に設定していると、十字キー（▲▼）は手動ピント合わせボタンになっているので、絞り値を設定することはできません。絞り値を設定するには、一度OKボタンを押してから、十字キー（▲▼）で切り替えてください。
- 液晶モニタのシャッター速度がオレンジ色で表示されたときは、適正露出が得られません。



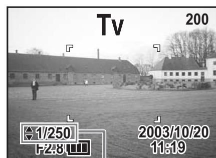
シャッター速度を設定して撮影する（シャッター優先モード）

シャッター速度はマニュアルで設定し、絞り値はカメラが自動的に設定して撮影します。

1　モードダイヤルをTvに合わせる

2　十字キー（▲▼）を押してシャッター速度を設定する

▲シャッター速度が速くなります。
▼シャッター速度が遅くなります。



シャッター速度

3　シャッターボタンを押す

撮影されます。

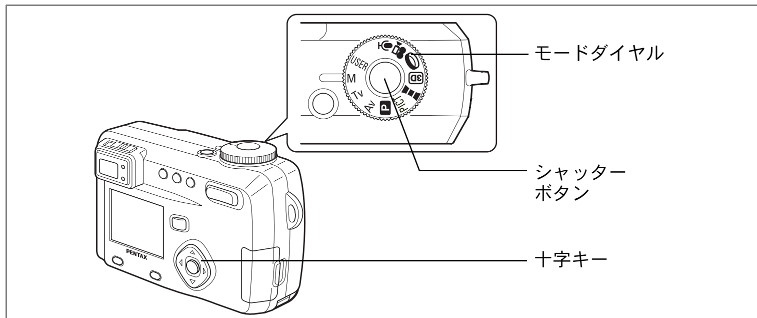
静止画を再生する ☞ p.28



シャッター速度は、電源をオフにしても保存されます。

注意

- フォーカスモードを「マニュアルフォーカスモード」に設定していると、十字キー（▲▼）は手動ピント合わせボタンになっているので、シャッター速度を設定することはできません。シャッター速度を設定するには、一度OKボタンを押してから、十字キー（▲▼）で切り替えてください。
- 液晶モニタの絞り値がオレンジ色で表示されたときは、適正露出が得られません。



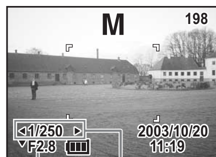
マニュアルで設定して撮影する（マニュアル露出モード）

シャッター速度と絞り値を手動で設定して撮影できます。

1　モードダイヤルをMに合わせる

2　十字キーでシャッター速度と絞り値を設定する

◀　シャッター速度が速くなります。
▶　シャッター速度が遅くなります。
▲　絞りが開き（絞り値が小さくなり）ます。
▼　絞りが絞られ（絞り値が大きくなり）ます。



絞り値　シャッター速度

設定したシャッター速度と絞り値の組み合わせが適正露出でない場合は、警告が表示されます。適正露出になると警告は消えて表示されません。

±（点灯）	適正露出との差が－2.0EV～－0.3EVの場合は◢、＋0.3EV～＋2.0EVの場合は◤が点灯し、数値が表示されます。
±（点滅）	－2.0EVを超える露出アンダーの場合は◢、+2.0EVを超える露出オーバーの場合は◤が点滅します。
±（点灯）	測光不能の場合点灯します。

4
撮影

3　シャッターボタンを押す

設定したシャッター速度と絞り値で撮影されます。

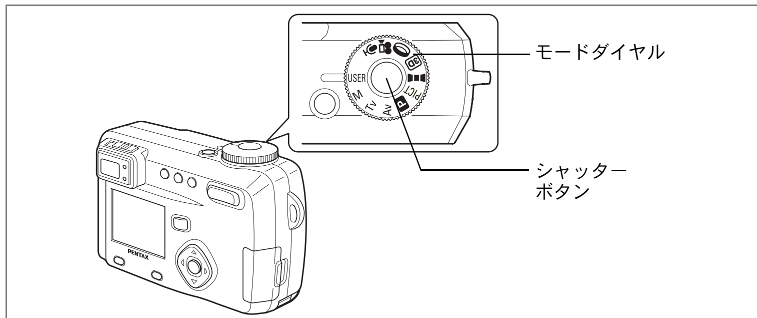
静止画を再生する ☞ p.28



シャッター速度と絞り値は、電源をオフにしても保存されます。



- このモードでは、露出補正はできません。
- フォーカスモードを「マニュアルフォーカスモード」に設定していると、十字キー（▲▼）は手動ピント合わせボタンになっているので、絞り値を設定することはできません。絞り値を設定するには、一度OKボタンを押してから、十字キー（▲▼）で切り替えてください。
- ストロボの発光方法で「オート」と「オート＋赤目軽減」は選択できません。



好みの機能を登録して使用する（ユーザーモード）

よく使う撮影モードや機能をあらかじめ登録しておいて、モードダイヤルをUSERに合わせると、登録しておいた、お好みの設定ですぐに撮影することができます。

機能を登録する

1　モードダイヤルをUSERに合わせる。



撮影モードのみ、モードダイヤルがUSER以外の場所でも設定することができます。

2　「撮影機能」メニューの各項目を好みの値に設定する

3　十字キー (▲▼)を押して「USER」を選ぶ

4　十字キー (◀▶)で登録する撮影モードを選ぶ

設定した各機能と撮影モードが「ユーザーモード」に登録されます。

ユーザーモードに登録できる機能については、次のページの一覧表をご覧ください。

● ユーザーモードに登録できる機能

ユーザーモードに登録できる項目	初期値	参照
記録サイズ	2592×1944	p.45
画質	★★	p.46
ホワイトバランス	AWB（オート）	p.47
AFエリア	ワイド	p.49
測光方式	（分割）	p.50
感度	オート	p.51
ストロボ光量補正	0.0	p.52
オートブラケット＊	－	p.86
デジタルズーム	オン	p.77

ユーザーモードに登録できる項目	初期値	参照
クイックビュー＊	2秒	p.53
インターバル撮影＊	－	p.82
早送り動画	オフ	p.88
立体視法＊	平行法	p.66
モードメモリ	－	p.89
シャープネス	標準	p.53
彩度	標準	p.54
コントラスト	標準	p.54
USER	**P**	－



＊の項目で設定した内容は、「USER」だけではなく、他の撮影モードにも反映されます。

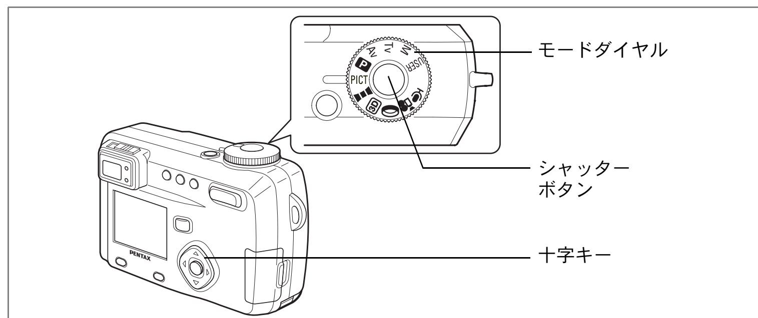
登録した機能を呼び出して撮影する

1　モードダイヤルをUSERに合わせる

2　シャッターボタンを押す

撮影されます。





シーンにあわせた撮影をする（ピクチャーモード）

撮りたいシーンにあわせた設定で撮影します。

●ピクチャーモードについて
ピクチャーモードには、以下のように9つのモードがあります。

	風景	風景写真をきれいに仕上げます。
	夜景	夜景など暗いシーンをきれいに仕上げます。
	花	花の写真をきれいに仕上げます。
	ポートレート	人物をきれいに仕上げます。
	サーフ＆スノー	砂浜や雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
	紅葉	紅葉の写真をきれいに仕上げます。
	夕景	夕焼けや朝焼けの写真を美しく描写します。
	花火	花火の写真をきれいに仕上げます。
	テキスト	文字をくっきりと撮影します。

1　モードダイヤルをPICTに合わせる

2　十字キー（▲▼）を押して希望のモードを選ぶ



3　シャッターボタンを押す

撮影されます。

静止画を再生する ☞ p.28

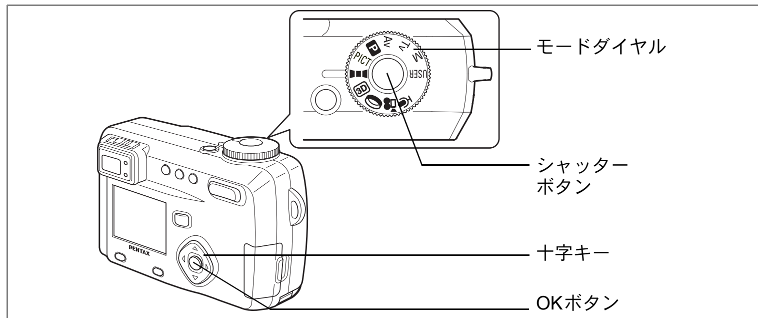
4 撮影



- ピクチャーモードは、電源をオフにしても保存されます。
- 「花火」では、ストロボは発光禁止になります。ピントは無限遠に固定されます。



- フォーカスモードを「マニュアルフォーカスモード」に設定していると、十字キー（▲▼）は手動ピント合わせボタンになっているので、ピクチャーモードを設定することはできません。ピクチャーモードを設定するには、一度OKボタンを押してから、十字キー（▲▼）で切り替えてください。
- 「夜景」「夕景」「花火」では、カメラぶれを防ぐため、三脚等に固定して撮影してください。



パノラマ撮影をする（パノラマアシスト）

付属のソフトウェア（Acdsee™）では、パソコン上で何枚かの写真をつなぎ合わせて、簡単にパノラマ写真を作成することができます。パノラマアシストモードで画像の端と端が重なるように撮影した写真を使ってつなぎ合わせると、1枚のパノラマ写真に仕上がります。

1 モードダイヤルを▮■▮に合わせる



2 十字キーでつなげる方向を選ぶ

◀ 画像を左につなぎます。
▶ 画像を右につなぎます。
▲ 画像を上につなぎます。
▼ 画像を下につなぎます。
ここでは▶を選んだ場合について説明します。

3 1枚目の画像を撮影する



シャッターボタンを押すと1枚目の画像が撮影され、1枚目の画像の右端が液晶モニタの左端に透過表示されます。

4 カメラを右に移動し 2 枚目の画像を撮影する



左端の透過表示に実画像表示が重なるようにカメラを移動し、シャッターを切ります。
3枚目以降の画像も同様にして撮影します。

5　OKボタンを押す

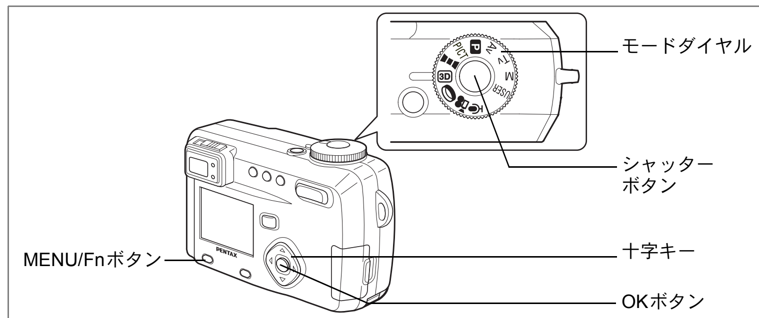
手順**1**の画面にもどります。



パノラマ撮影を中止するには、▮■▮以外のモードに切り替えてください。



- パノラマ写真の作成はカメラ本体ではできません。付属のソフトウェア（ACDSee™）を使用します。パノラマ写真の作成の方法については、別冊（PC編）のp.32~34をご覧ください。
- ▮■▮では、連続撮影、インターバル撮影、多重撮影はできません。
- パノラマ写真の作成にはWindowsパソコンが必要です（付属のソフトウェア（ACDSee™）は、Machintosh環境では、パノラマ写真の作成ができません）。



3D写真を撮影する（3D撮影モード）

平行法/交差法 (p.68) で見る3D写真を液晶モニタを使って撮影します。平行法で撮影した3D写真をプリントして、付属の3Dイメージビュアーで見ると立体的に見えます。

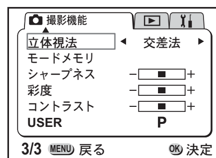
立体視法を選ぶ

初期設定では「平行法」が選択されています。「交差法」に切り替える必要がなければ、手順**5**に進んでください。

1　MENU/Fnボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「立体視法」を選ぶ



3　十字キー（◀▶）で「交差法」を選ぶ

3Dイメージビュワーで見るときは、平行法を選択してください。
裸眼で楽しむこともできます。

4　OKボタンを押す

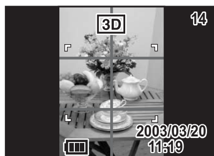
撮影を行う画面に戻ります。

5 モードダイヤルを3Dに合わせる

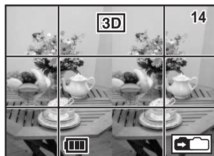
液晶モニタの中央に1枚目の画像を撮影するための画面が表示されます。

6 1枚目の画像を撮影する

被写体が画面の中央に入るようにしてシャッターボタンを押します。



液晶モニタの左側に撮った画像が表示され、右側に2枚目の画像を撮影するための画面が表示されます。



7 撮影姿勢を変えずに右に移動する

8 2枚目の画像を撮影する

被写体が画面右側の中央に入るようにしてシャッターボタンを押します。
2枚目の撮影が終了すると、手順**6**の画面に戻ります。

9 再生ボタンを押す

液晶モニタに撮影された左右両方の画像が表示されます。



- 3D撮影を中止する場合は、MENU/Fnボタンを押すか、3D以外のモードに切り替えてください。
- 1つの被写体を2回撮影するので、動くものを撮影しても立体画像は撮影できません。人物を撮影するときは、動かないように声をかけ、すばやく2枚目の撮影を行いましょう。三脚や適当な台を利用すれば、容易に右に水平移動できます。
- カメラの移動量は被写体までの距離の 1/40 程度が目安です。たとえば、被写体までの距離が3mあれば、移動量は3m÷40=7.5cmとなります。立体感の見え方には個人差がありますので、あまり難しく考えず、下記の表を参考にしていろいろ移動距離を変えて撮影してみましょう。

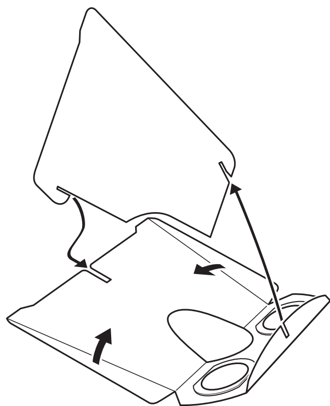
被写体までの距離	0.1m	0.3m	0.5m	1m	3m	5m
カメラの移動距離	0.5cm	1cm	1.5cm	2.5cm	7.5cm	13cm

●平行法と交差法による3D写真

人間の目は左右に約6～7cm離れているため、左右それぞれの目には微妙に角度のズレた景色が写っています。この左右の見え方を脳が処理することにより、立体的に見え、この原理を応用した撮影方法および写真の観察方法が3D写真です。
3D写真を観察する方法としては、左右の視線をほぼ平行にして（遠くを見るように）見る「平行法」と、左右の視線を交差させて見る「交差法」があります。なお、ビュワーを使わずに3D写真を観察するためには多少の練習が必要になる場合があります。

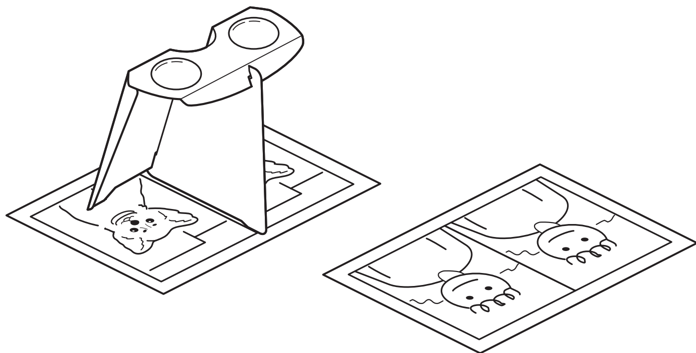
●3Dイメージビュワーの組み立て方

付属の3Dイメージビュワーは、次のように組み立ててお使いください。



●3Dイメージビュワーを使った3D写真の観察方法

横幅が11cmから12cm程度になるようにプリントし、2枚の画像の中心に3Dイメージビュワーの仕切りを合わせて3D写真を観察します。





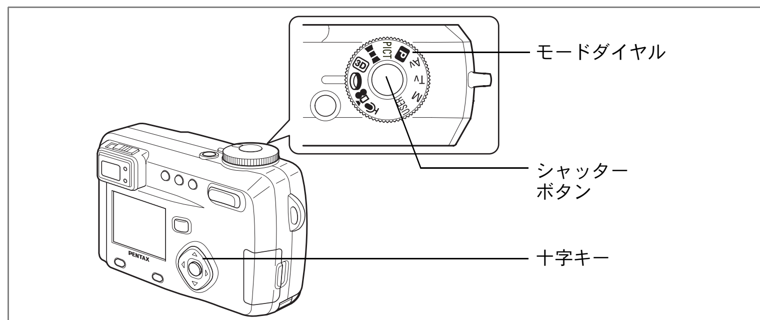
人間の左右の目の間隔には個人差があるため、同じ大きさのプリントを見ても立体視が困難な場合があります。特にプリントサイズが大きすぎたり、小さすぎたりすると立体視は非常に困難になります。何度かプリントを試してみて、立体視しやすい大きさを見つけてください。



- 3Dイメージビュワーで絶対に太陽はのぞかないでください。
- 3D イメージビュワーを直接日光の当たる場所に放置しないでください。 火災の原因となる恐れがあります。

●3D写真の参考例





デジタルフィルタを使って撮影する（デジタルフィルタモード）

デジタルフィルタには、赤、青、緑などさまざまな色をした色フィルタと、ソフト効果を出すソフトフィルタとがあります。デジタルフィルタモードでは、これらのフィルタを使用して撮影を行います。

●色フィルタについて
色フィルタには、白黒、セピア、赤、桃色、紫、青、緑、黄色の8種類のフィルタがあります。デジタルフィルタモードで色フィルタを選択すると、液晶モニタにはそれぞれの色フィルタの色味がかかった画像が表示され、その色で画像が撮影されます。

●ソフトフィルタ
ソフトフィルタを使用すると、画像をソフトな調子に仕上げて撮影することができます。

1　モードダイヤルを ◐ に合わせる

2　十字キー（▲▼）で使用するフィルタを選ぶ

3　シャッターボタンを押す

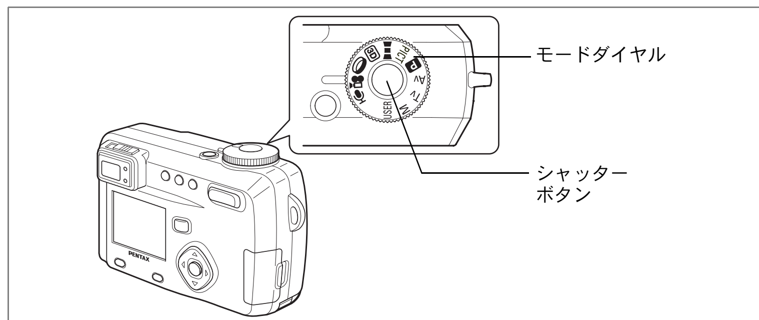
撮影されます。



静止画を再生する ☞ p.28

注意

フォーカスモードを「マニュアルフォーカスモード」に設定していると、十字キー（▲▼）は手動ピント合わせボタンになっているので、フィルタを選択することはできません。フィルタを選択するには、一度OKボタンを押してから、十字キー（▲▼）で切り替えてください。

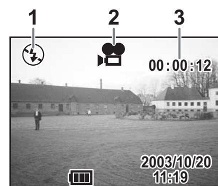


動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。一度に撮影できる時間は、画面右上に表示されます。音声も同時に記録されます。

1　モードダイヤルを 🎥 に合わせる

液晶モニタに次の情報が表示されます。
1 発光禁止マーク
2 動画モードアイコン
3 撮影可能時間



2　シャッターボタンを押す

撮影が開始されます。ズームボタンで画像の大きさを切り替えることができます。
🌲　被写体が大きく写ります。
🌲🌲🌲　被写体が小さく写ります。

3　シャッターボタンを押す

撮影が終了します。残り撮影可能時間が表示されます。

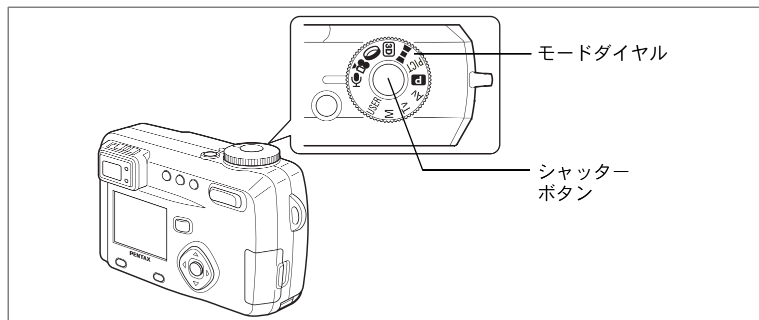
シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

動画を再生する ☞ p.93

注意

- 動画モードでは、ストロボは発光しません。
- 動画モードでは、連続撮影、インターバル撮影、多重露出撮影はできません。
- 動画モードでは、液晶モニタをオフにできません。
- 動画モードでは固定焦点になりますので、フォーカスモードは選択できません。
- 動画撮影中は、デジタルズームのみが作動し、光学ズームは作動しません。



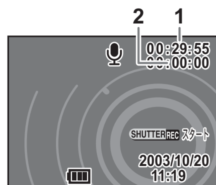
音声を録音する（ボイスレコーディングモード）

音声を記録します。SDメモリーカード/マルチメディアカードの空き容量に応じて、録音できる時間が表示されます。

1　モードダイヤルを🎙に合わせる

液晶モニタに録音可能な時間が表示されます。

1 残り録音可能時間　2 録音時間



2　シャッターボタンを押す

録音が開始されます。録音中は、セルフタイマーランプとストロボランプが点滅します。

3　シャッターボタンを押す

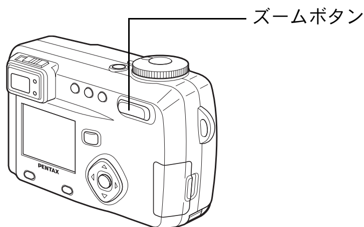
録音が終了します。残り録音可能時間が表示されます。

音声を再生する ☞ p.94



音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。

4 撮影



USER M Tv Av P PICT

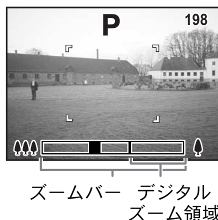
ズームを使って撮影する

ズームを使って撮影する範囲の望遠／広角撮影ができます。

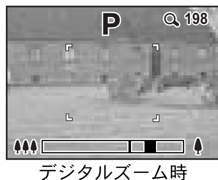
1 撮影モードでズームボタンを押す

- 望遠：被写体が大きく写ります。
- 広角：被写体が小さく写ります。

デジタルズーム機能がオフのときは、5倍までの光学ズーム撮影となります。デジタルズーム機能がオンのときは、被写体をさらに最大20倍相当まで拡大して撮影できます。







デジタルズーム時

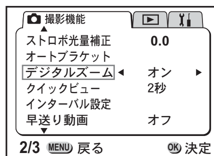
設定したズーム位置を保存する ☞ p.89

デジタルズーム機能をオンにする

1　撮影モードでMENU/Fnボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ



3　十字キー（▶）を押して「オン」を選ぶ

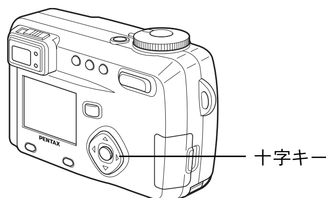
4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

デジタルズーム機能のオン/オフを保存する ☞ p.89

注意

- 液晶モニタをオフにすると、デジタルズーム機能がオンの状態でも、デジタルズームはオフになります。
- デジタルズームを使用して撮影すると、画質が粗くなります。
- デジタルズームを使用すると高倍率になり、手ぶれを起こしやすくなりますので、カメラを三脚などに固定してください。
- 動画モードでは、撮影前に光学ズームを作動させることができますが、撮影中はデジタルズームのみになります。

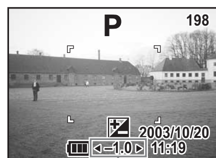


USER Tv Av P PICT

露出を補正する

意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影するときに露出補正をします。

1 撮影モードで十字キー（◀▶）を押す



露出補正値

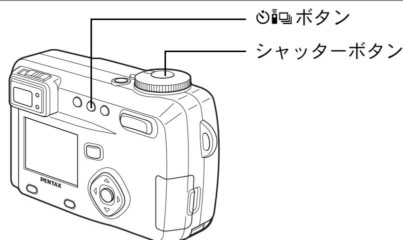
◀ 露出をマイナス方向に設定します。
▶ 露出をプラス方向に設定します。

設定した値が液晶モニタに表示されます。

露出補正値を保存する ☞ p.89



- 一度だけ十字キー（◀▶）を押した場合や± 0 に設定した場合は、2 秒で表示が消えます。
- PICT の「花火」では露出補正ができません。



USER M Tv Av P PICT 3D

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒後に撮影します。

1　撮影モードでボタンを押して、液晶モニタにを表示させる

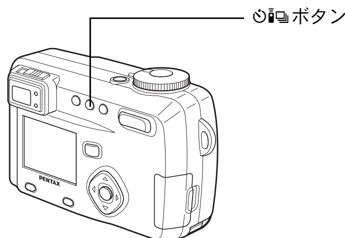
2　シャッターボタンを押す

セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが点灯します。セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約3秒後に撮影されます。

再生する ☞ p.91



- 液晶モニタをオンにすると、カウントダウン表示されます。
- カウントダウン表示中にシャッターボタンを半押しすると、セルフタイマーは解除されます。



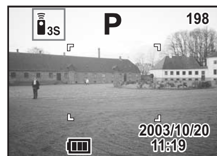
USER M Tv Av P PICT 3D

リモコン（別売）を使って撮影する

リモートコントロールF（別売）を使って撮影します。

1 撮影モードでボタンを押して、液晶モニタにを表示させる

セルフタイマーランプが点滅し、リモコンで撮影できる状態になります。



2 リモコンのシャッターボタンを押す

セルフタイマーランプが早い点滅に変わり、約3秒後に撮影されます。

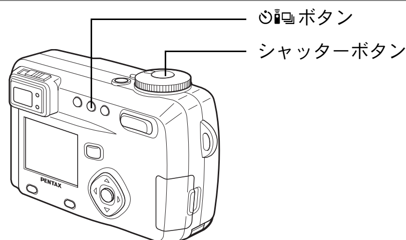
再生する ☞ p.91



- 本体のボタンは、通常と同じように操作できます。
- リモコンの届く距離は、カメラ正面から約5m程度です。
- 逆光時には、リモコンの届く距離が短くなることがあります。
- リモコンのシャッターボタンを押してすぐに画像撮影されるようにするには、手順**1**でボタンを押して、液晶モニタにを表示させます。

●リモコン用電池の寿命

リモコンからカメラへ約30,000回信号を送信することができます。電池の交換は最寄りのペンタックスお客様窓口にご相談ください。［交換は有料になります］



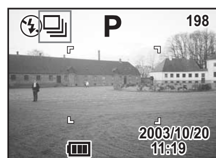
USER M Tv Av P PICT

連続して撮影する

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

1　撮影モードで ボタンを押して、液晶モニタに を表示させる

連続撮影モードに切り替わります。



2　シャッターボタンを押す

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。

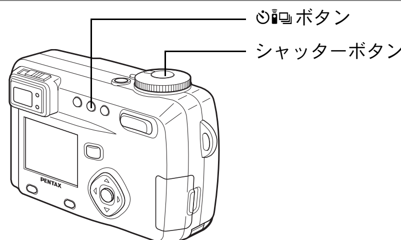
静止画を再生する ☞ p.28



連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。



- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- では、連続撮影はできません。



USER M Tv Av P PICT

設定した時間間隔で撮影する（インターバル撮影）

4
撮影

一定の時間間隔で静止画を自動的に撮影します。

1 撮影モードでボタンを押して、液晶モニタにを表示させる

2 シャッターボタンを押す

下記の設定でインターバル撮影が始まります。

- 撮影間隔　10秒
- 撮影枚数　2枚
- 撮影開始時間　0分後

撮影が終了すると、カメラの電源が自動的に切れます。



- 撮影間隔は、10秒から4分までの間は1秒単位で、4分から99分までの間は1分単位で設定することができます。10秒以下に設定することはできません。
- 撮影枚数は、2枚から99枚の範囲で設定可能です。
- 撮影開始時間は、0分から23時間59分の間で1分単位で設定することができます。
- 撮影開始時間を0分後に設定すると、シャッターボタンを押してすぐに1枚目の画像が撮影されます。
- カメラが待機中に電源スイッチを押すと、液晶モニタに残り撮影枚数と撮影間隔が表示されます。このときにMENU/Fnボタンを押すと「インターバル撮影を中止しますか？」とメッセージが表示されます。OKボタンを押してインターバル撮影を中止することができます。
- SDメモリーカード/マルチメディアカードの容量が足りなくなった場合には、インターバル撮影が終了しカメラの電源が自動的に切れます。

注意

3Dでは、インターバル撮影はできません。

撮影間隔、撮影枚数、撮影開始時間を設定する

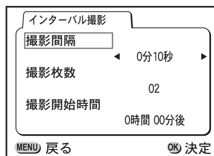
1　撮影モードでMENU/Fnボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▼）を押して「インターバル撮影」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

「インターバル撮影」メニューが表示され、「撮影間隔」が選択されています。



4　撮影間隔を設定する

1. 十字キー（▶）を押す

「分」の上下に▲▼が表示されます。

2. 十字キー（▲▼）で分を設定し、十字キー（▶）を押す

「秒」の上下に▲▼が表示されます。

3. 十字キー（▲▼）で秒を設定し、十字キー（▶）を押す

4. 十字キー（▼）を押す

選択枠が「撮影枚数」に移動します。

5　十字キー（◀▶）で撮影枚数を設定し、十字キー（▼）を押す

選択枠が「撮影開始時間」に移動します。

6　撮影開始時間を設定する

1. 十字キー（▶）を押す

「時間」の上下に▲▼が表示されます。

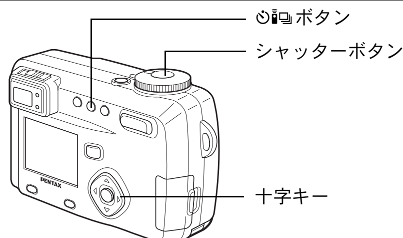
2. 十字キー（▲▼）で時間を設定し、十字キー（▶）を押す

「分」の上下に▲▼が表示されます。

3. 十字キー（▲▼）で分を設定し、十字キー（▶）を押す

7　OKボタンを2回押す

静止画を再生する ☞ p.28



USER M Tv Av P PICT

撮影した画像の上に撮影する（多重露出）

撮影済みの画像の上に、新たに撮影した画像を合成します。

撮影済みの画像がある場合

1　撮影モードでボタンを押して、多重露出モードに切り替える

合成する元となる画像を選ぶ画面が表示されます。

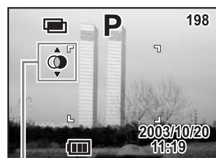


2　十字キー（◀▶）でベースとなる画像を選んで、OKボタンを押す

液晶モニタに選択した画像が透過表示されます。

3　カメラを被写体に向け、十字キー（▲▼）で露出方法を選ぶ

明るい画像を優先します。
暗い画像を優先します。
平均化します。



露出方法

4　シャッターボタンを押す

クイックビュー画面が表示された後､「続けて撮影しますか？」とメッセージが表示されます。
「続けて撮影」を選択してOKボタンを押すと、直前に合成した画像が再生され、さらに画像が合成できる状態になります。合成された画像は、新たに保存されます。

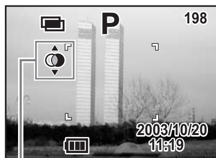
撮影済みの画像がない場合

1　撮影モードで⏲ボタンを押して、多重露出モードに切り替える



液晶モニタに「ベース画像撮影」とメッセージが表示されます。
合成する元となる画像を撮影してください。
元となる画像の撮影が終わると、撮影された画像が液晶モニタに透過表示されます。

2　カメラを被写体に向け、十字キー（▲▼）で露出方法を選ぶ



露出方法

- 明るい画像を優先します。
- 暗い画像を優先します。
- 平均化します。

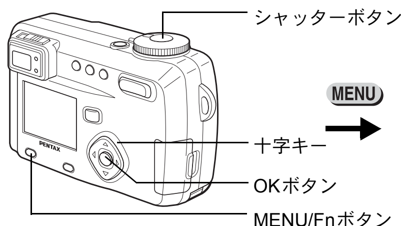
3　シャッターボタンを押す

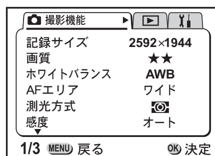
クイックビュー画面が表示された後、「続けて撮影しますか？」とメッセージが表示されます。
「続けて撮影」を選択してOKボタンを押すと、直前に合成した画像が再生され、さらに画像が合成できる状態になります。合成された画像は、新たに保存されます。

静止画を再生する ☞ p.28

注意
- 3D では多重露出はできません。
- 多重露出モードでは、連続撮影できません。
- 多重露出モードでは、液晶モニタをオフにできません。

4 撮影





USER M Tv Av P PICT

撮影条件を自動で変えて撮影する（オートブラケット）

露出、ホワイトバランス、シャープネス、彩度、コントラストの設定条件を自動的に3通りに変えて撮影します。

1　撮影モードでMENU/Fnボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

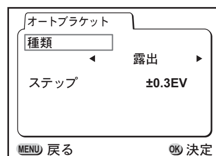
2　十字キー（▼）を押して「オートブラケット」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ブラケットの種類を選ぶ画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）でブラケット撮影を行う条件を選ぶ

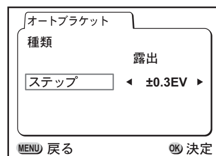
シャープネス、彩度、コントラストを選んだ場合は、手順**7**に進んでください。



5　露出またはホワイトバランスの場合は十字キー（▼）を押す

「ステップ」の設定に移ります。

6　十字キー（◀▶）でステップを設定する



7　OKボタンを押す

ブラケット撮影モードになります。

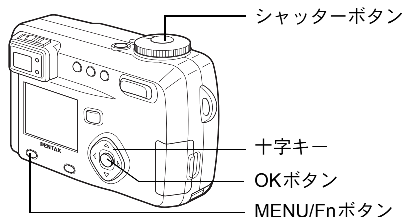
8 シャッターボタンを押し続ける

ブラケット撮影が行われます。
撮影が終わると、「続けて撮影しますか？」とメッセージが表示されます。「続けて撮影」を選択してOKボタンを押すと、続けてブラケット撮影が行えます。

静止画を再生する ☞ p.28

注意

- 撮影した画像は再生モードで確認してください。
- 連続撮影設定時に、オートブラケットを設定すると、連続撮影は解除されます。
- オートブラケットを設定してから、MENU/Fn ボタンを押すと、設定は解除されます。





早送り動画を撮影する（早送り動画）

早送り動画を設定すると、フレームレート（1秒間に撮る画面回数）を遅らせて動画を撮影します。撮影した動画を再生すると、被写体が早送りされているように見えます。

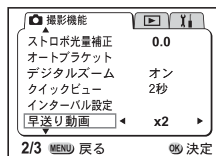
1　モードダイヤルを に合わせる。

2　撮影モードでMENU/Fnボタンを押す

「 撮影機能」メニューが表示されます。

3　十字キー（▼）を押して「早送り動画」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で「オフ（×1）」「×2」「×5」「×10」「×50」「×100」を切り替える



5　OKボタンを押す

6　シャッターボタンを押す

早送り動画撮影が始まります。

7　シャッターボタンを押す

早送り動画撮影が終了します。

動画を再生する ☞ p.93



- オフ（×1）は通常の動画設定です（15フレーム毎秒）。×2、×5と選ぶごとに1秒間に撮影される回数は1/2、1/5と減少していきます。
- 動画再生は常に15フレーム毎秒ですので、×2で撮影したものは 2 倍に、×5で撮影したものは5倍で早送り再生されるように見えます。
- 音声は録音されません。

設定を保存する

メニュー項目を保存する（モードメモリ）

電源をオフにしたときに、撮影のために設定した値をメモリ（保存）するかどうかを選びます。「オン」を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリします。「オフ」を選ぶと、電源をオフにしたときに初期値に戻ります。

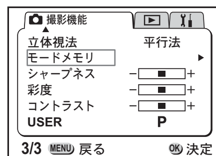
項目	内容	初期値
ストロボ	⚡ボタンで設定したストロボモードを保存します。	オフ
ストロボ光量補正	設定したストロボ補正値を保存します。	0.0
ホワイトバランス	「📷撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」での設定を保存します。	オフ
露出補正	設定した露出補正値を保存します。	オフ
デジタルズーム	「📷撮影機能」メニューの「デジタルズーム」での設定を保存します。	オン
測光方式	「📷撮影機能」メニューの「測光方式」で設定した測光方式を保存します。	オフ
感度	「📷撮影機能」メニューの「感度」で設定した値を保存します。	オフ
フォーカス方式	設定したフォーカスモードを保存します。	オフ
ズーム位置	設定したズーム位置を保存します	オフ
MF位置	マニュアルで設定したフォーカス位置を保存します。	オフ
DISPLAY	液晶モニタの表示モードを保存します。	オフ
ファイルNo.	ファイル番号を保存します。SDメモリーカード／マルチメディアカードを入れ替えた場合でも連番でファイル名を作成します。	オン



- 「モードメモリ」に含まれないメニュー項目は、電源をオフにした後も、各機能のメニュー画面で設定された値が保持されます。
- デジタルズーム領域で設定したズーム位置は、「モードメモリ」の「ズーム位置」をオンにしても保存されません。
- オートブラケットは保存されません。
- 「モードメモリ」は、ユーザーモードとそれ以外の撮影モードで別々に設定することができます。

1　撮影モードでMENU/Fnボタンを押す

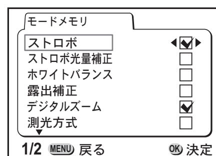
2　十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ



3　十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」メニューが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「項目」を選ぶ

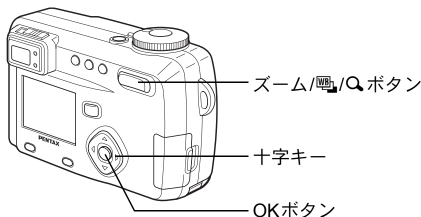


5　十字キー（◀▶）で ☑（オン）と □（オフ）を切り替える

6　OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

再生する



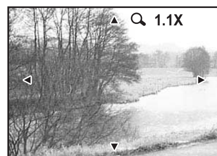
静止画を再生する

操作方法は「静止画を再生する」（p.28）をご覧ください。

拡大して再生する

再生する画像を8倍まで拡大表示できます。拡大中は液晶モニタにガイドが表示されます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ



2　ズーム/▣/Q ボタンの ♠/Q を押す

画面が大きく（1倍～8倍）表示されます。

●拡大表示中にできる操作

十字キー（▲▼◀▶）	拡大位置を移動する
ズーム/▣/Q ボタン（♠）	画像を大きくする
ズーム/▣/Q ボタン（♠♠♠）	画像を小さくする
DISPLAYボタン	ガイドをオン/オフする

3　OKボタンを押す

拡大再生が終了します。



「詳細設定」メニューの「クイック拡大」であらかじめ倍率を選択しておくと、手順**2**でズーム/▣/Q ボタンの ♠/Q を一度押しただけで、選択した倍率で拡大表示されます。

注意

動画は拡大表示できません。

ボイスメモを付ける

撮影した画像にボイスメモを付けることができます。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを付けたい画像を選ぶ



ボイスメモが付いていない画像の場合、液晶モニタにボイスメモを開始するための画面が表示されます。

2 OKボタンを押す

ボイスメモが開始します。ボイスメモは最長30秒録音することができます。

3 OKボタンを押す

ボイスメモが終了します。

4 十字キー（▲）を押す

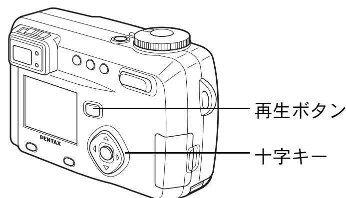
録音されたボイスメモが再生されます。

5 十字キー（▲）を押す

ボイスメモの再生が停止します。



- プロテクト（🔑）されている画像にボイスメモを付けることはできません。
- ボイスメモの付いた画像には、液晶モニタに♫が表示されます。



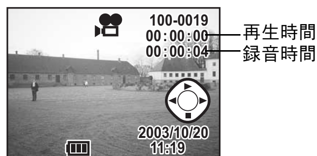
動画を再生する

動画を再生します。再生中は液晶モニタに操作ガイドが表示されます。音声も同時に再生されます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。



●再生中にできる操作

十字キー（◀）	逆方向に再生する
十字キー（▶）	順方向に再生する
十字キー（▲）	一時停止する
ズーム/⊞/🔍ボタン（♠）	音量を大きくする
ズーム/⊞/🔍ボタン（♠♠♠）	音量を小さくする
DISPLAYボタン	DISPLAYモードを切り替える

●一時停止中にできる操作

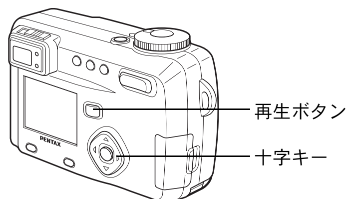
十字キー（◀）	コマ戻しする
十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（▲）	一時停止を解除する（再生する）
DISPLAYボタン	DISPLAYモードを切り替える

3　十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

4　再生ボタンを押す

撮影モードに切り替わります。



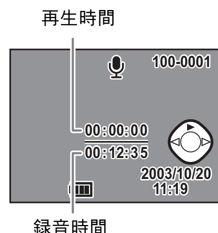
音声を再生する

ボイスレコーディングモードで録音した音声を再生します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい音声を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。



●再生中にできる操作

十字キー（◀）　押し続けると、音声を早戻し再生する
十字キー（▶）　押し続けると、音声を早送り再生する
ズーム/⊞/🔍ボタン（♠）　音量を大きくする
ズーム/⊞/🔍ボタン（♠♠♠）音量を小さくする

3　十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

4　再生ボタンを押す

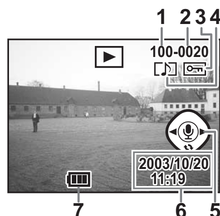
撮影モードに切り替わります。

再生時の情報を表示する（DISPLAYモード）

再生時の情報を液晶モニタにオーバーレイ表示できます。DISPLAYボタンで表示される情報を切り替えます。

DISPLAYオン

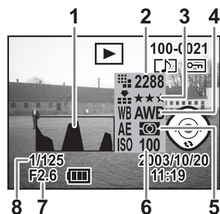
再生時の情報を表示します。
1 フォルダ名　　2ファイル名
3 プロテクトマーク
4 ボイスメモマーク
5 十字キー操作ガイド
6 撮影日時　　　7バッテリーマーク





ヒストグラム表示

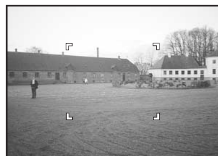
画像の明度分布を表示します。横軸は明るさ(左端が最も暗く、右端が最も明るい)、縦軸はピクセル数を表わします。
1 ヒストグラム　2記録サイズ
3 画質　　　　　4ホワイトバランス
5 測光方式　　　6感度
7 絞り値　　　　8シャッター速度





DISPLAYオフ

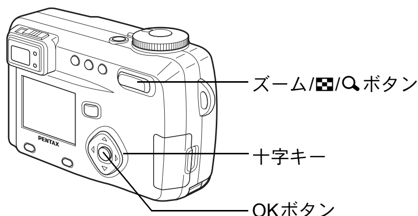
再生時の情報を表示しません。





DISPLAYオン

5 再生・消去



9画像ずつ表示する

撮った画像を一つの画面に9枚まで同時に表示できます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で画像を選ぶ

2　ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞/⊞を押す

画像が小さなコマで一度に9コマまで表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で画像が選べます。10枚以上の画像が記録されている場合、右下の画像を選択しているときに十字キー（▶）を押すと次の9画像が表示され、左上の画像を選択しているときに十字キー（◀）を押すと前の9画像が表示されます。また、上の列の画像を選択しているときに十字キー（▲）を押すと前の9画像が表示され、下の列の画像を選択しているときに十字キー（▼）を押すと次の9画像が表示されます。



選択画像

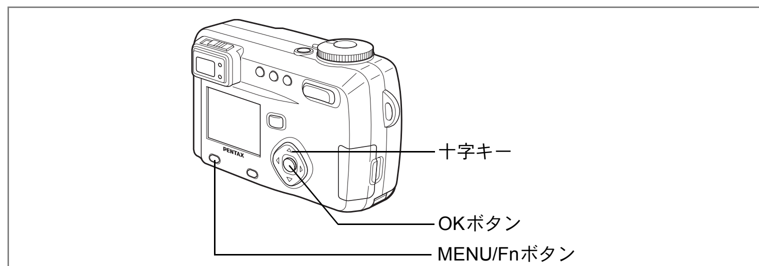
3　OKボタンを押す

選択した画像が1枚表示されます。
※動画は、1コマ目の画像が表示されます。



音声ファイルは🎤で表示されます。

5 再生・消去



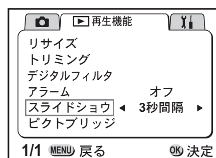
スライドショウで連続再生する

SDメモリーカード/マルチメディアカードに保存された全画像を連続して再生します。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2 MENU/Fnボタンを押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。



3 十字キー（▼）で「スライドショウ」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）で再生時間を切り替える

3秒間隔、5秒間隔、10秒間隔、20秒間隔、30秒間隔から選択できます。

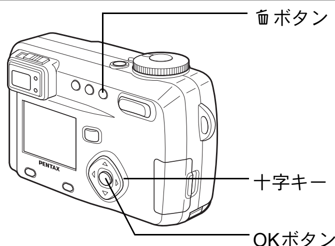
5 OKボタンを押す

設定した時間で再生が開始します。



- 連続再生中に十字キーやMENU/Fnボタンなどのボタンを押すと、スライドショウが停止します。
- スライドショウは、ボタンを押して停止させるまで繰り返します。
- 動画、ボイスメモ付き画像は、設定した再生間隔にかかわらずすべて再生されてから、次の再生に移ります。

消去する



画像・音声を個々に消去する

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像・音声を選ぶ

2　ボタンを押す

消去画面が表示されます。



3　十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す



- 画像の消去は、クイックビュー（p.27）で画像表示中に行なうこともできます。
- プロテクト（）されている画像は、消去できません。
- 「詳細設定」メニューの「クィック消去」をオンに設定すると手順**3**の操作を省略することができます。

5 再生・消去

ボイスメモを消去する

ボイスメモ付きの（♪が表示された）画像の場合は、画像は消去せずにボイスメモのみを消去することができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したいボイスメモ付きの画像を選ぶ

2　🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。

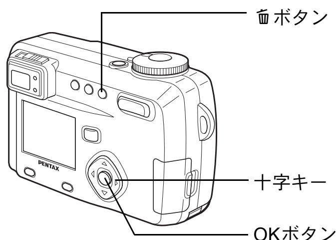


3　十字キー（▲）で「音声消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す



画像とボイスメモの両方を消去するには、手順**3**で「消去」を選びます。

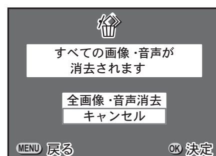


まとめて消去する

保存されている全画像・音声を消去します。



- 消去した画像・音声は復元ができません。
- プロテクトされている画像・音声は消去できません。



1　再生モードに入り、🗑 ボタンを2回押す

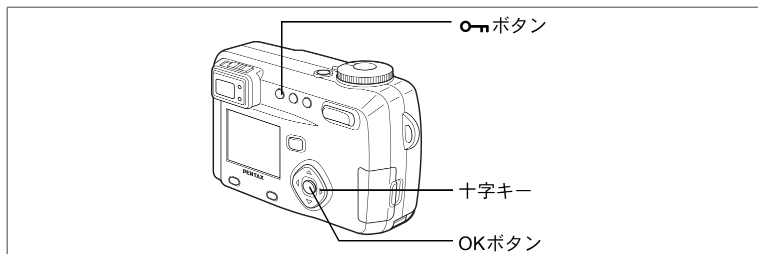
全画像・音声消去画面が表示されます。

2　十字キー（▲）で「全画像・音声消去」を選ぶ

3　OKボタンを押す

メモ

「詳細設定」メニューの「クィック消去」をオンに設定すると手順**2**の操作を省略することができます。



消去できないようにする（プロテクト）

画像・音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプロテクトする画像・音声を選ぶ

2　O┳ボタンを押す

プロテクト画面が表示されます。



3　十字キー（▲）を押す

選択枠が「プロテクト」に移動します。

4　OKボタンを押す



- プロテクトを解除するには、手順**3**で「解除」を選びます。
- プロテクトされた画像・音声には、再生時にO┳が表示されます。

全画像・音声をプロテクトするには

全画像・音声をプロテクトすることができます。

1　再生モードに入る

1　O┳ボタンを2回押す

全画像・音声プロテクト画面が表示されます。

2　十字キー（▲）を押す

選択枠が「プロテクト」に移動します。

3　OKボタンを押す

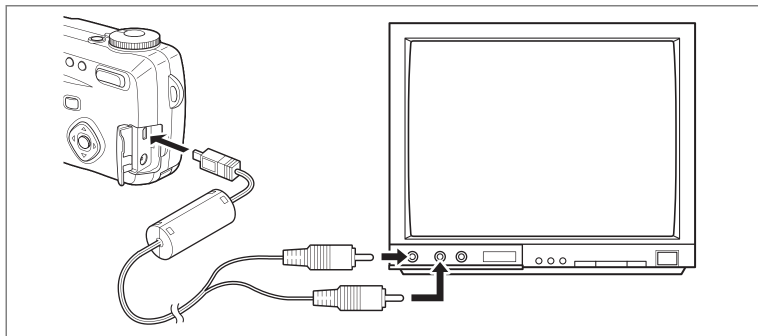


手順**3**で「解除」を選ぶと、全画像・音声のプロテクト設定が解除されます。



プロテクトされた画像・音声もSDメモリーカード/マルチメディアカードをフォーマットすると消去されます。

テレビで画像を見る



AVケーブルを使用すると、テレビなど、AV入力端子を備えた機器をモニタにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

1　端子カバーを開き、AVケーブルをカメラに接続する

2　AVケーブルの音声端子（白）と映像端子（黄色）を、テレビの音声入力端子（白）と映像入力端子（黄色）へそれぞれ接続する

3　テレビとカメラの電源を入れる

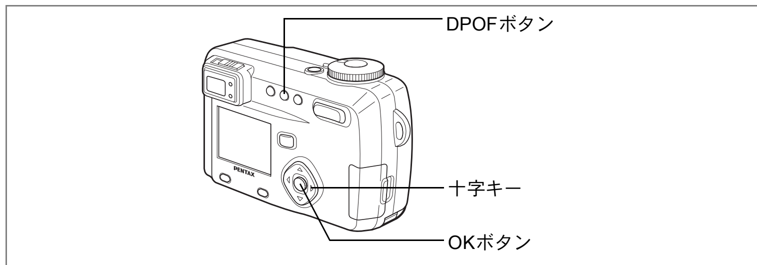
ビデオの出力方式を切り替える ☞ p.121



テレビに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。長時間使用するときは、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。テレビ等接続する機器の使用説明書もご覧ください。

プリントサービスの設定をする（DPOF）

SDメモリーカード/マルチメディアカードに保存した画像は、DPOF（Digital Print Order Format）対応プリンタやラボプリントサービスでプリントできます。



1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。

●枚数
　プリントする枚数を設定します。10枚までの設定ができます。

●日付
　プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプリント指定する画像を選ぶ

2　DPOFボタンを押す

DPOF画面が表示されます。



3　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定し、十字キー（▼）を押す



選択枠が「日付」に移動します。

4　十字キー（◀▶）で日付の（オン）と（オフ）を設定する

☑　プリントに日付を入れます
□　プリントに日付を入れません

5　OKボタンを押す

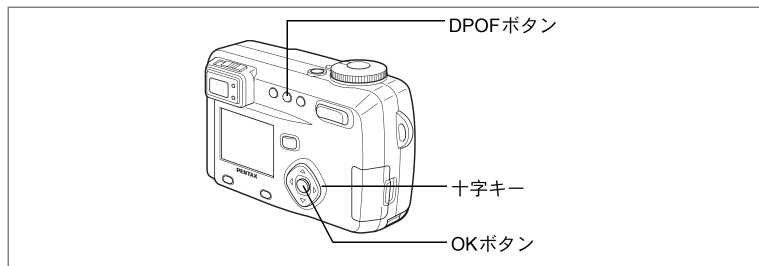
設定した値でプリントできます。



- すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のオン/オフが表示されます。
- DPOF を解除するには、枚数を「00」に設定して、OK ボタンを押します。

注意

- 動画には、DPOFを設定することはできません。
- プリンタやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で日付をONにしても、プリントに日付が写し込まれない場合があります。



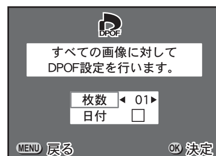
全画像を設定する

1　再生モードに入り、DPOFボタンを2回押す

DPOF（全画像）画面が表示されます。

2　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定する

10枚まで設定ができます。



3　十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

4　十字キー（◀▶）で日付の☑（オン）と□（オフ）を設定する

☑　プリントに日付を入れます
□　プリントに日付を入れません

5　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。



- 全画像設定を行なうと、1画像ずつの設定は解除されます。
- 全画像設定でプリント枚数の指定をすると、すべてのコマに指定した枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。
- 動画にはDPOF設定できません。

カメラを直接プリンタにつないでプリントする

カメラを付属のUSBケーブル（I-USB7）でPictBridge対応プリンタに接続すると、パソコンを介さなくても、カメラからプリンタへダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリントする枚数は、カメラとプリンタを接続した状態で、カメラ側で設定を行います。1画像ずつプリントする方法と、プリントサービスの設定内容でプリントする方法とがあります。

注意

カメラをプリンタに接続するときは、ACアダプタキットK-AC7Jのご使用をお奨めします。プリンタと通信中にバッテリーが消耗すると、プリンタが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。



プリンタの種類によっては、カメラ側の設定（画質、DPOFの設定など）のすべてが反映されないことがあります。

カメラをプリンタに接続する

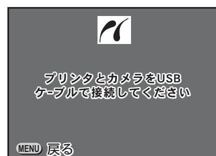
1 再生モードに入り、MENU/Fnボタンを押す

「再生機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「ピクトブリッジ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「プリンタとカメラをUSBケーブルで接続してください」とメッセージが表示されます。



4 カメラを付属の USB ケーブルでプリンタに接続する

1画像ずつプリントするための画面が表示されます。

1画像ずつプリントする

1　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ

2　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

10枚まで設定ができます。



3　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。
プリントが終了すると、「続けて印刷しますか？」とメッセージが表示されます。OKボタンを押すと手順**1**の画面に戻り、続けてプリントすることができます。

プリントサービスの設定内容でプリントする

1　1 画像ずつプリントするための画面が表示されている状態で、DPOF ボタンを押す

プリントサービスが設定されている画像が表示されます。
1画像ずつプリントするための画面に戻るには、DPOFボタンを押します。



2　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ

3　OKボタンを押す

選んだ画像に設定されているプリントサービスの設定内容でプリントできます。
プリントが終了すると、「続けて印刷しますか？」とメッセージが表示されます。OKボタンを押すと手順**1**の画面に戻り、続けてプリントすることができます。

プリンタからカメラを取り外す

プリントが終了したら、カメラをプリンタから取り外します。

1　カメラの電源をオフにする

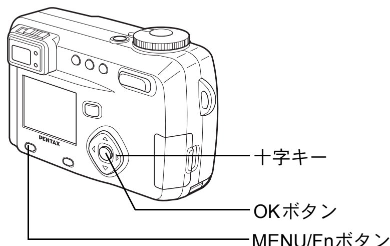
2　カメラからUSBケーブルを取り外す

3　プリンタからUSBケーブルを取り外す



「続けて印刷しますか？」とメッセージが表示されているときにMENU/Fnボタンを押すと、「USBケーブルを取外し可能です」とメッセージが表示されます。カメラからUSBケーブルを取り外すと、カメラは自動的に撮影モードに切り替わります。

画像を編集する



画像のサイズを変更する

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを元のファイルサイズよりも小さくすることができます。サイズを変更した画像は、元の画像に上書き保存することも、新規の画像として保存することもできます。

1　MENU/Fnボタンを押す

2　十字キー（▶）を押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）を押して「リサイズ」を選ぶ

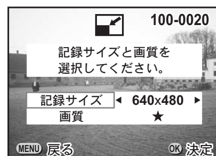
4　十字キー（▶）を押す

リサイズ画面が表示されます。



5　十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ

6 OKボタンを押す



7 十字キー（◀▶）で「記録サイズ」を選ぶ

8 十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

9 十字キー（◀▶）で「画質」を選ぶ

10 OKボタンを押す

11 十字キー（▲▼）で「上書き保存」「新規保存」を選ぶ

12 OKボタンを押す

画像がリサイズされます。



- 動画のサイズを変更することはできません。
- 元の画像の記録サイズよりも大きな記録サイズは選択できません。
- 元の画像の画質よりもきれいな画質は選択できません。

画像をトリミングする

画像の一部分をトリミングして、別の画像として保存します。

1　MENU/Fnボタンを押す

2　十字キー（▶）を押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）を押して「トリミング」を選ぶ

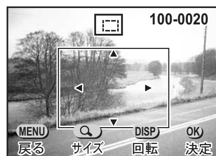
4　十字キー（▶）を押す

トリミングできる画面が表示されます。

5　十字キー（◀▶）でトリミングする画像を選ぶ

6　OKボタンを押す

トリミング画面が表示されます。



7　トリミングする

●トリミング画面でできる操作

ズーム/▦/🔍ボタン	画像のサイズを変える
DISPLAYボタン	縦横を切り替える
十字キー（▲▼◀▶）	トリミング位置を上下左右に移動する
MENU/Fnボタン	トリミングする画像を選択する画面に戻る

8　OKボタンを押す

9　十字キー（◀▶）でトリミング後の画質を選ぶ

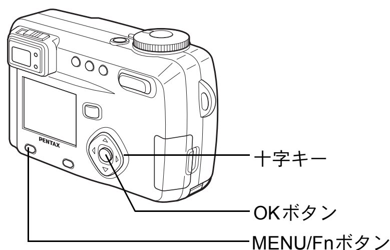


10　OKボタンを押す

トリミングされた画像が別の画像として保存されます。



- 動画をトリミングすることはできません。
- 元の画像の画質よりもきれいな画質は選択できません。



デジタルフィルタを使って編集する

デジタルフィルタには、赤、青、緑などさまざまな色をした色フィルタ、ソフト効果を出すソフトフィルタ、明るさを調節する明るさフィルタがあります。デジタルフィルタモードでは、これらのフィルタを使用して画像を編集できます。

● 色フィルタについて

色フィルタには、白黒、セピア、赤、桃色、紫、青、緑、黄色の8種類のフィルタがあります。色フィルタを選択すると、液晶モニタにはそれぞれの色フィルタの色味がかかった画像が表示され、その色で画像が保存されます。

● ソフトフィルタ

ソフトフィルタを使用すると、画像をソフトな調子に仕上げて保存できます。

● 明るさフィルタ

明るさフィルタを使用すると、画像全体を明るくしたり、暗くして保存できます。

1　MENUボタンを押す

2　十字キー（▶）を押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）を押して「デジタルフィルタ」を選ぶ

4　十字キー（▶）を押す

デジタルフィルタ画面が表示されます。

5　十字キー（◀▶）で加工する画像を選ぶ

6　十字キー（▲▼）で使用するフィルタを選ぶ



●明るさフィルタを選んだ場合

ズーム／⊞／🔍ボタン（♠）　画像が明るく調整されます
ズーム／⊞／🔍ボタン（♠♠♠）画像が暗く調整されます

7　OKボタンを押す

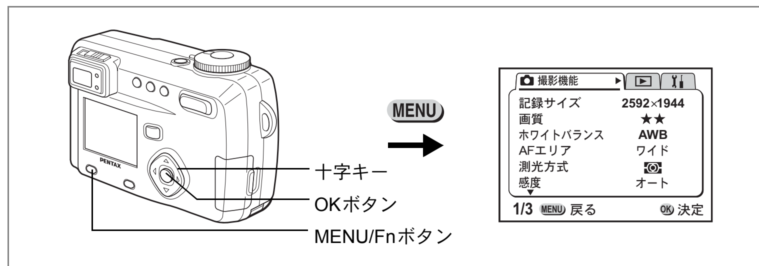
8　十字キー（▲▼）で「上書き保存」「新規保存」を選ぶ

9　OKボタンを押す

加工された状態で画像が保存されます。

カメラの設定をする

「🔧詳細設定」メニューの呼び出しかた



SDメモリーカード/マルチメディアカードをフォーマットする

SDメモリーカード/マルチメディアカードに保存されているすべてのデータを消去します。

注意

- SDメモリーカード/マルチメディアカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカード／マルチメディアカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行なうと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。

1 「🔧詳細設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

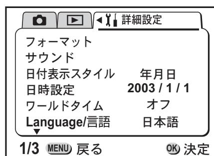
フォーマット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「フォーマット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影または再生できる状態になります。





サウンドの設定を変更する

起動音、シャッター音、操作音の音量を変更することができます。起動音、シャッター音、操作音ごとに、音の種類を変更することもできます。

音量を変更する

1 「詳細設定メニュー」の「サウンド」を選ぶ

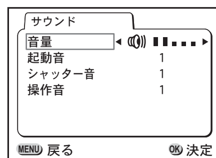
2 十字キー（▶）を押す

サウンド画面が表示されます。

3 十字キー（◀▶）を押して音量を切り替える

4 OKボタンを2回押す

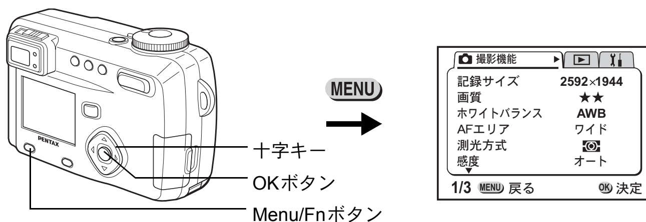
撮影または再生できる状態になります。



6

画像の編集・設定

「詳細設定」メニューの呼び出しかた



起動音、シャッター音、操作音の種類を変更する

1 「詳細設定メニュー」の「サウンド」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

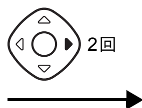
音量画面が表示されます。

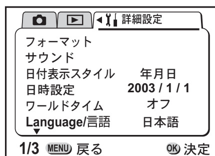
3 十字キー（▲▼）を押して「起動音」を選び、十字キー（◀▶）で「1」「2」「3」「オフ」を切り替える

4 「シャッター音」「操作音」も同様に切り替える

5 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。





日付の表示スタイルを変更する

カメラに表示する日付の表示形式を設定します。
「年月日」「月日年」「日月年」から選べます。

1 「詳細設定」メニューの「日付表示スタイル」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で日付スタイルを切り替える

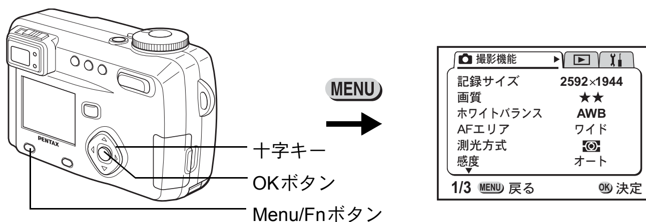
3 OKボタンを押す

設定した日付表示で撮影または再生できる状態になります。



時刻の表示形式は「日時設定」で設定します。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた



日付／時刻を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。

1 「詳細設定」メニューの「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

日時設定画面が表示されます。



日時の設定方法は「日時を設定する」（p.23）をご覧ください。

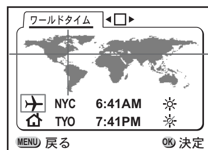
ワールドタイムを設定する

「初期設定をする」（p.22）で設定した日時は、「ホームタイム」（通常使用する国・地域の日時）として設定されます。
「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用する際、液晶モニタに設定した国・地域の日時で表示できます。

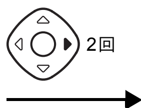
1 「詳細設定」メニューの「ワールドタイム」を選ぶ

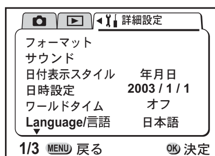
2 十字キー（▶）を押す

ワールドタイム設定画面が表示されます。



6 画像の編集・設定





3 十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

☑　ワールドタイムで選択した国・地域の時刻表示になります。
□　ホームタイムで選択した国・地域の時刻表示になります。

4 十字キー（▼）を押す

はじめに東京がワールドタイムの対象地域として選択されます。このとき、✈には東京の記号名（TYO）と現地時刻が表示されます。

5 十字キー（◀▶）でワールドタイムの都市を選んで、十字キー（▼）を押す

6 十字キー（◀▶）で「夏時間」のオン（☼）/オフ（☼）を切り替える

7 十字キー（▼）を押す

はじめに東京（TYO）がホームタイム（⌂）の対象地域として選択されます。

8 手順 5 6を繰り返して、ホームタウンの都市と、「夏時間」のオン（☼）/オフ（☼）を設定する

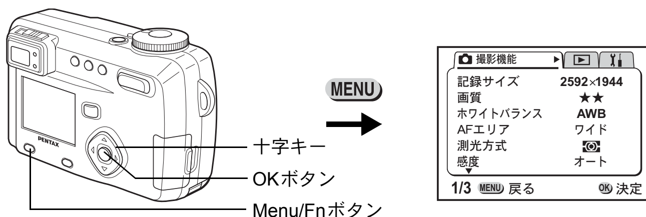
9 OKボタンを2回押す

設定した都市の日時で撮影または再生できる状態になります。



指定できる都市および都市の記号名については、p.130をご覧ください。

「⚒詳細設定」メニューの呼び出しかた



起動画面を変更する

カメラで撮影した画像を、カメラの電源を入れたときに、起動画面として表示させることができます。

1　「⚒詳細設定」メニューで「起動画面表示」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

起動画面設定画面が表示されます。



3　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

☑　起動画面を表示します
□　起動画面を表示しません

4　DPOFボタンを押す

5　十字キー（◀▶）を押して、起動画面として表示する画像を選ぶ

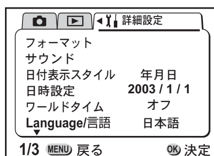
6　OKボタンを3回押す

撮影または再生できる状態になります。



一度設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SDメモリーカード/マルチメディアカードをフォーマットしても消去されません。消去する場合は設定をリセットしてください。（☞ p.127）





表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。

1 「詳細設定」メニューの「Language/言語」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で言語を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

ビデオ出力方式を選択する

テレビをモニタにして撮影や再生をするときの出力形式をNTSC方式とPAL方式から選べます。

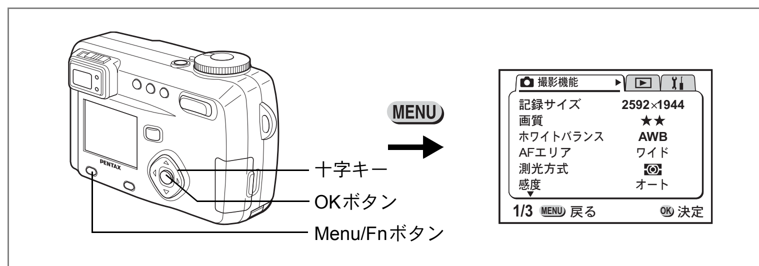
1 「詳細設定」メニューの「ビデオ出力」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）でモニタにするテレビの出力方式に合わせて、「NTSC」「PAL」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。
日本国内では、NTSC方式です。

「⚙詳細設定」メニューの呼び出しかた



スリープを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に液晶モニタが消えるように設定できます。

1 「⚙詳細設定」メニューの「スリープ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「30秒」「1分」「2分」「オフ」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。



- USB接続しているときや、音声を録音中はスリープは働きません。
- ACアダプタを使用しているときは、スリープは働きません。

オートパワーオフを設定する

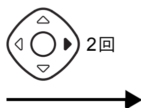
一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

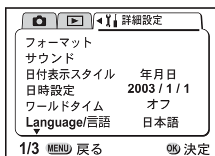
1 「⚙詳細設定」メニューの「オートパワーオフ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「3分」「5分」「オフ」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。







- メニュー画面を表示させてから1分間何も操作しないと、メニュー画面が終了します。
- USB接続しているときは、オートパワーオフは働きません。

クイック消去をオン／オフする

クイック消去をオンに設定すると、「消去」「全画像・音声消去」が選択された状態で消去画面が表示されます。

1 「詳細設定」メニューで「クイック消去」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「オン」「オフ」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

クイック拡大をオン／オフする

拡大再生時にズームボタンを一度押しただけで選択された倍率で画像を再生するように設定します。

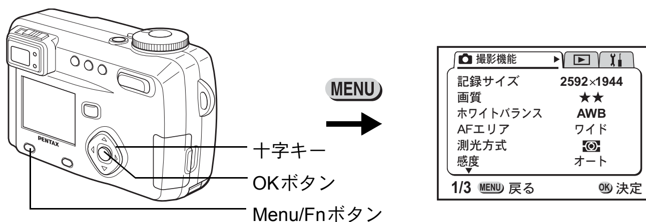
1 「詳細設定」メニューで「クイック拡大」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「× 2」「× 4」「× 8」「オフ」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた



Fn設定をする

頻繁に使用する機能を十字キーに登録します。撮影時に、撮影機能メニューを表示しなくても、十字キーを押すことで直接機能を設定することができます。

機能を登録する

1 「詳細設定」メニューの「Fn設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

Fn設定画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）を押して機能を登録するキーを選ぶ

4 十字キー（◀▶）で登録する機能を選ぶ

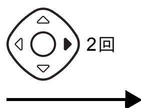
何も機能を登録しない場合にはオフを選びます。

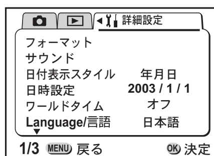
5 OKボタンを2回押す

機能が登録され、撮影できる状態になります。



- 各キーに登録することができる機能は1つのみです。
- 登録できる撮影機能は、記録サイズ、画質、ホワイトバランス、AFエリア、測光方式、感度、デジタルズーム、クイックビュー、シャープネス、彩度、コントラスト、ストロボ光量補正の12項目です。
- 初期状態では、◀に「ストロボ光量補正」のマイナス方向、▶に「ストロボ光量補正」のプラス方向があらかじめ登録されています。後から◀または▶のいずれかに「ストロボ光量補正」を登録した場合も同様です。
- ▲または▼のいずれかに「ストロボ光量補正」を登録すると、▲はプラス方向、▼はマイナス方向に補正されます。





機能を呼び出す



1　撮影モードに入り、MENU/Fnボタンと機能を登録した十字キー（▲▼◀▶）を同時に押す

2　MENU/Fn ボタンを押したまま機能を登録した十字キー（▲▼◀▶）を押して設定を変更する

3　MENU/Fnボタンから指を離す

設定が保存され、撮影できる状態になります。



十字キー（▲▼）にストロボ光量補正が設定されている場合は、十字キー（▲）はプラス方向、十字キー（▼）はマイナス方向にのみ補正されます。

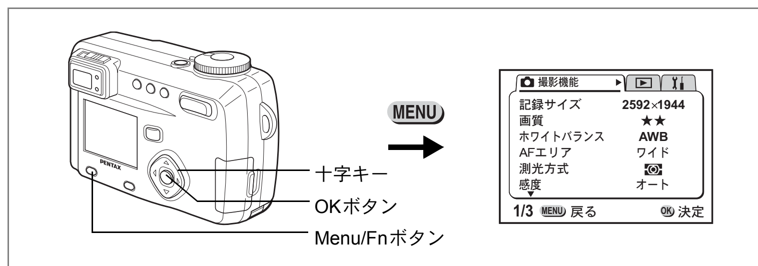
設定状態を確認する



1　MENU/FnボタンとDISPLAYボタンを同時に押す

機能の設定状態が表示されます。
表示はMENU/FnボタンとDISPLAYボタンを押している間保持されています。

「⚙詳細設定」メニューの呼び出しかた



フォーカスリミットを設定する

フォーカスリミットを「オン」にすると、通常撮影時は遠距離側に、マクロ撮影時には近距離側にレンズ移動が制限されますので、素早いピント合わせが可能になります。

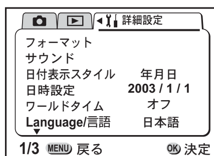
1　「⚙詳細設定」メニューの「フォーカスリミット」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で「オン」と「オフ」を切り替える

3　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。





設定をリセットする

日時設定、Language/言語、ビデオ出力、日時表示スタイル、ワールドタイム以外の設定内容をリセットします。

1　「詳細設定」メニューの「リセット」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

リセット画面が表示されます。

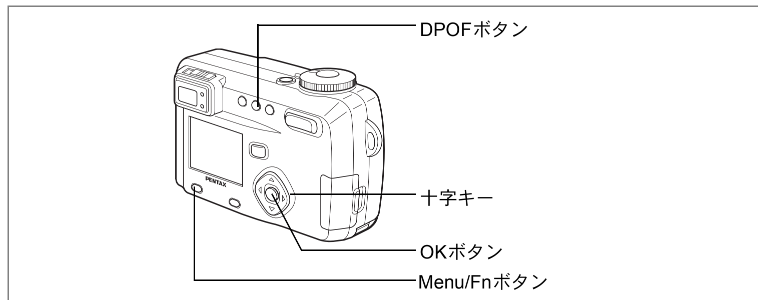
3　十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ

4　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

決まった時刻にアラームを鳴らす

指定した時刻にアラームを鳴らし、指定した画像を表示できます。



アラームを確認する

1　MENU/Fnボタンを押す

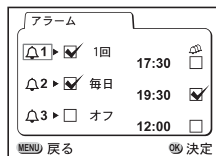
2　十字キー（▶）を押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）を押して「アラーム」を選ぶ

4　十字キー（▶）を押す

アラーム一覧が表示されます。
オンのアラームは☑で表示されます。



5　OKボタンを2回押します。

オンのアラームがあるときは、電源がオフになり、アラームがセットされます。

アラームを設定する

1　MENU/Fnボタンを押す

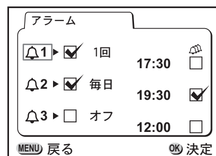
2　十字キー（▶）を押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）を押して「アラーム」を選ぶ

4　十字キー（▶）を押す

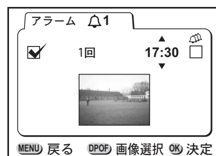
アラーム一覧が表示されます。



5　十字キー（▲▼）で1～3を選ぶ

6　十字キー（▶）を押す

動作モードと時刻を設定する画面が表示されます。



7　十字キー（▲▼）を押して、アラームを鳴らす回数を選ぶ

毎日	毎日、設定した時刻に鳴るようにします
1回	設定した時刻に1回だけ鳴るようにします
オフ	アラームが鳴らないようにします

8　十字キー（▶）を押す

9　十字キー（▲▼）を押して、アラームを鳴らす時刻（時）を設定する

10　手順8～9を繰り返して、アラームを鳴らす時刻（分）と、（スヌーズ）の☑（オン）□（オフ）を設定する

スヌーズをに設定すると、5分間隔で5回アラームが鳴ります。

11　DPOFボタンを押す

12　十字キー（FE）を押して、アラーム時に表示する画像を選ぶ

13　OKボタンを押す

14　OKボタンを3回押す

電源がオフになります。
電源をオフにしているときに指定した時刻になると、アラームが1分間鳴ります。鳴り終わると自動的に電源がオフになります。

アラームを停止する

1　アラームが鳴っているときに、いずれかのボタンを押す

アラームが停止します。



スヌーズを終了するには、MENU/FnボタンとOKボタンを同時に押します。

注意

アラームは電源がオンのときには鳴りません。

都市名一覧

ワールドタイムで指定できる都市、および都市の記号名です。

地域	国名	都市名	記号名
ヨーロッパ	スペイン	マドリッド	MAD
	イギリス	ロンドン	LON
	フランス	パリ	PAR
	イタリア	ミラノ	MIL
		ローマ	ROM
	ドイツ	ベルリン	BER
	ロシア	モスクワ	MOW
アフリカ	南アフリカ	ヨハネスブルグ	JNB
	エジプト	カイロ	CAI
中東	トルコ	イスタンブール	IST
	イスラエル	エルサレム	JRS
	サウジアラビア	ジッダ	JED
	イラン	テヘラン	THR
	アラブ首長国連邦	ドバイ	DXB
	アフガニスタン	カブール	KBL
アジア	パキスタン	カラチ	KHI
	モルディブ	マーレ	MLE
	インド	デリー	DEL
	スリランカ	コロンボ	CMB
	ネパール	カトマンズ	KTM
	バングラディシュ	ダッカ	DAC
	ミャンマー	ヤンゴン	RGN
	タイ	バンコク	BKK
	マレーシア	クアラルンプール	KUL
	ラオス	ビエンチャン	VTE
	シンガポール	シンガポール	SIN
	カンボジア	プノンペン	PNH
	ベトナム	ホーチミン	SGN
	インドネシア	ジャカルタ	JKT
	中国	香港	HKG
		北京	BJS
		上海	SHA

地域	国名	都市名	記号名
アジア	フィリピン	マニラ	MNL
	台湾	台北	TPE
	韓国	ソウル	SEL
	日本	東京	TYO
オセアニア	米領サモア	パゴパゴ	PPG
	オーストラリア	パース	PER
		アデレード	ADL
		シドニー	SYD
	ニューカレドニア	ヌーメア	NOU
	ニュージーランド	ウェリントン	WLG
		オークランド	AKL
北米	アメリカ	グアム	GUM
		ホノルル	HNL
		アンカレジ	ANC
		サンフランシスコ	SFO
		ロサンゼルス	LAX
		デンバー	DEN
		シカゴ	CHI
		マイアミ	MIA
		ニューヨーク	NYC
	カナダ	バンクーバー	YVR
		カルガリー	YYC
		トロント	YTO
		ハリファックス	YHZ
中南米	メキシコ	メキシコシティ	MEX
	チリ	サンティアゴ	SCL
	ベネズエラ	カラカス	CCS
	アルゼンチン	ブエノスアイレス	BUE
	ブラジル	サンパウロ	SAO
		リオデジャネイロ	RIO

撮影モード別の設定可能な撮影機能メニュー

○：設定の変更がすべて作動に反映します
×：初期値のみが作動に反映し、設定の変更は無効です

項目	M	Tv	Av	P	PICT		3D			
記録サイズ	○	○	○	○	○	○	○	○	320×240	×
画質	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
ホワイトバランス	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
AFエリア	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
測光方式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
感度	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
ストロボ光量補正	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
オートブラケット	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×
デジタルズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
クイックビュー	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
インターバル撮影	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×
早送り動画	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
立体視法	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
モードメモリ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
シャープネス	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
彩度	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
コントラスト	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
USER	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×



- 「×」の項目は、メニュー画面上では設定を変更できますが、作動には反映されません。
- 「USER」では、登録した撮影モードで「○」の項目のみ設定を変更することができます。

メニュー初期値一覧

●「撮影機能」メニュー

項目	初期値
記録サイズ	2592×1944（ ：320×240）
画質	★★
ホワイトバランス	AWB（オート）
AFエリア	ワイド
測光方式	（分割）
感度	オート
ストロボ光量補正	0.0
オートブラケット	－
デジタルズーム	オン
クイックビュー	2秒
インターバル撮影	－
早送り動画	オフ
立体視法	平行法
モードメモリ	－
シャープネス	標準
彩度	標準
コントラスト	標準
USER	**P**

●「再生機能」メニュー

項目	初期値
リサイズ	－
トリミング	－
デジタルフィルタ	白黒
アラーム	オフ
スライドショウ	3秒間隔
ピクトブリッジ	－

●「詳細設定」メニュー

項目	初期値
フォーマット	―
サウンド	―
日付表示スタイル	年/月/日
日時設定	2003/ 1/ 1
ワールドタイム	オフ
Language/言語	日本語
起動画面表示	オン
ビデオ出力	NTSC
スリープ	1分
オートパワーオフ	3分
クイック消去	オフ
クイック拡大	オフ
Fn設定	Fn+◀、Fn+▶ にストロボ光量補正
フォーカスリミット	オン
リセット	―

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

圧縮に失敗しました	画像の圧縮に失敗しました。画質/サイズを変えて、もう一度撮影してください。
カード空き容量なし	SDメモリーカード/マルチメディアカードに容量いっぱいの画像・音声が保存されていて、これ以上画像・音声を保存できません。新しいSDメモリーカード/マルチメディアカードをセットするか、不要な画像・音声を消去してください。（p.18、98） 画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。（p.45、46）
記録中です	画像・音声をSDメモリーカード/マルチメディアカードに記録しています。
フォルダが作成できません	最大のファイルNo.が使用されているため、画像・音声を保存できません。新しいSDメモリーカード/マルチメディアカードをセットするか、SDメモリーカード/マルチメディアカードをフォーマットしてください。（p.114）
画像・音声がありません	SDメモリーカード/マルチメディアカードに再生できる画像・音声が保存されていません。
この画像を表示できません	このカメラでは再生できない画像を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
プロテクトされています	プロテクトされた画像を消去しようとした場合に表示されます。
設定を記録中です	画像・音声のプロテクト設定やDPOF設定を記録しています。
フィルタ処理できる画像がありません	TIFF画像を選択しているときや、SDメモリカード/マルチメディアカードに画像が保存されていないときにデジタルフィルタ加工を行おうとしたときに表示されます。
アラームを設定しました	アラームを設定して、カメラの電源が自動的にオフになるときに表示されます。
消去中です	SDメモリーカード/マルチメディアカードに保存されている画像・音声を消去しています。
電池容量がなくなりました	バッテリー残量がありません。バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。（p.14、15）
カードが異常です	SDメモリーカード/マルチメディアカードの異常で、撮影/再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合もあります。

カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカード/マルチメディアカードがセットされているか、パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカード/マルチメディアカードがセットされています。(p.114)
フォーマット中	SDメモリーカード/マルチメディアカードをフォーマット中です。
カードが入っていません	カメラにSDメモリーカード/マルチメディアカードがセットされていません。(p.18)
カードがロックされています	SDメモリーカードがライトプロテクトされています。(p.19)
DPOFファイルがありません	画像にDPOF設定をしていないときに、ピクトブリッジモードでDPOFボタンを押したときに表示されます。画像にDPOF設定をしてください。
プリンタエラー印刷中止	ピクトブリッジモードでプリンタにエラーが発生した場合(紙づまりや用紙がセットされていない場合など)に表示されます。
プリンタとカメラをUSBケーブルで接続してください	再生機能メニューからピクトブリッジを選んだときに表示されます。
画像がありません	ピクトブリッジモードで、プリント可能な画像がSDメモリカード/マルチメディアカードに保存されていません。
USBケーブルを取外し可能です	ピクトブリッジモードで、プリント続行を行わないときに表示されます。

こんなときは？

現象原因	対処方法	
電源が入らない	バッテリーが入っていない	バッテリーが入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	バッテリーの入れかたを間違えている	バッテリーの挿入方向を確認してください。バッテリーのラベルをカメラのレンズ側に向けて入れなおしてください。（p.15）
	バッテリーの残量がない	充電済みのバッテリーをセットしてください。または、ACアダプタを使用してください。
液晶モニタに何も表示されない	液晶モニタがオフにセットされている	DISPLAYボタンを押すと、液晶モニタがオンになります。（p.40）
	USBケーブルでパソコンに接続している	パソコンに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。
	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニタが表示されていても、確認しづらいことがあります。
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボランプが赤色に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了すると赤色に点灯します。
	SDメモリーカード/マルチメディアカードに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカード/マルチメディアカードをセットするか、不要な画像・音声を消去してください。（p.18、98）
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
ズームが動かない	スーパーマクロモードにセットされている	スーパーマクロモードではズームは作動しません。

現象原因	対処方法	
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。一旦撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	AF エリアに被写体が入っていない	液晶モニタ中央のAFエリアに、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、一旦撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを❀にセットしてください。（p.42）
	フォーカスモードが❀になっている	フォーカスモードが❀にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。▣モードにセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。（p.62）
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	オートまたは⚡に設定してください。（p.44）
	撮影モードが🎥にセットされているか、スーパーマクロモード、連続撮影モード、遠景モード、またはピクチャーモードの花火モードに設定されている	これらのモードではストロボは発光しません。

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	500万画素	
撮像素子	総画素数525万画素、原色フィルタ／インターライントランスファー1/1.8型CCD	
記録画素数	静止画	2592×1944ピクセル、2048×1536ピクセル、1600×1200ピクセル、1024×768ピクセル、640×480ピクセル
	動画	320×240ピクセル
感度	オート、マニュアル（ISO64相当、ISO100相当、ISO200相当、ISO400相当）	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2）、TIFF、DCF準拠、DPOF対応、PRINT Image Matching II対応
	動画	MOV（Quick Time Motion JPEG準拠）、約15フレーム／秒
画質	TIFF、S.ファイン、ファイン、エコノミー	
記録媒体	SDメモリーカード、マルチメディアカード	

撮影枚数

記録サイズ ＼ 画質	TIFF	S.ファイン（★★★）	ファイン（★★）	エコノミー（★）	動画（320×240）	ボイスレコーディング
2592×1944	0枚	約4枚	約8枚	約14枚	約40秒	約30分
2048×1536	－	約7枚	約12枚	約18枚		
1600×1200	－	約11枚	約20枚	約27枚		
1024× 768	－	約25枚	約45枚	約56枚		
640× 480	－	約53枚	約82枚	約100枚		

• 表の数値は16MBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯（W）、蛍光灯（N）、蛍光灯（D）、マニュアル	
レンズ	焦点距離	7.8mm ～ 39mm（35mm フィルム換算：37.5 ～ 187.5mm相当）
	F値	F2.8～F4.6
	レンズ構成	7群9枚（非球面レンズ2枚使用）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	33.7mm×24.7mmを画面一杯に撮影可能（ワイド端でスーパーマクロモードおよびマニュアルフォーカス時）
	レンズバリア	電動式
デジタルズーム	撮影時：最大約4倍	（光学5倍ズームと合わせ、最大約20倍［35mmカメラ換算で750mm相当］のズーム倍率）
ファインダー	方式	実像式ズームファインダー（-3～$1m^{-1}$の範囲で視度調整可能）
	倍率	ワイド0.37×、テレ1.66×
液晶モニタ	1.5型低温ポリシリコンTFTカラー LCD、11.3万画素（バックライト付）	

再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大8倍）、スクロール、スライドショウ、画像回転表示、ムービー再生、音声再生、ヒストグラム表示、トリミング、リサイズ	
オートフォーカス方式	方式	外部パッシブセンサ併用撮影素子によるTTLコントラスト検出方式
	撮影範囲（レンズ前面から）	ノーマル：0.6m～∞（ズーム全域） マクロ：0.15m～0.65m（ズーム全域） スーパーマクロ：0.02m～0.65m（広角側のみ） 遠景：∞（ズーム全域）
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる
マニュアルフォーカス	0.15m～∞（ズーム全域）、0.02m～∞（広角側のみ）	
露出機構	測光方式	撮影素子によるTTL測光（分割、中央部重点、スポット）
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
	動画	撮影時間約1秒～（最大値はカード容量による）
	オートブラケット可	
	撮影モード	プログラム、Av、Tv、M、PICT、動画、パノラマアシスト、3D、デジタルフィルタ、USER、ボイスレコーディング
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	約1/2000～約15秒 （マニュアル、シャッター優先時：約1/1000秒～約4秒）
ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減
	調光補正	±2EV（1/3EVステップで可能）
	撮影範囲	ワイド　約0.4m～約5.2m（感度オート） テレ　　約0.15m～約3.2m（感度オート）
ドライブモード	1コマ撮影、セルフタイマー撮影、3秒後リモコン撮影、即リモコン撮影、連続撮影、インターバル撮影、多重露出	
セルフタイマー	電子制御式、作動時間：約10秒	
リモコン	ペンタックスリモートコントロールF（別売） 受信後約3秒後に露出開始、または即露出開始の切り替え可	
時計機能	ワールドタイム設定、世界62都市に対応（28タイムゾーン）	
電源	充電式リチウムイオンバッテリー、ACアダプタキット（別売）	
バッテリー寿命	約400枚	（液晶モニタオン、ストロボ使用率50％）、約210分 ※撮影可能枚数は当社撮影条件による目安です
入出力ポート	USB/AV端子（PC通信方式USB1.1）、外部電源端子	
ビデオ出力方式	NTSC/PAL	
ダイレクトプリント	PictBridge対応	
大きさ	100（幅）×59（高）×39.5（厚）mm（操作部材除く）	
質量	205g（バッテリー、SDメモリーカード／マルチメディアカード含まず）	
撮影時質量	250g（バッテリー、SDメモリーカード／マルチメディアカード含む）	
付属品	充電式リチウムイオンバッテリー、バッテリー充電器キット、USBケーブル、AVケーブル、3Dイメージビュワー、ソフトウェア（CD-ROM）、ストラップ、使用説明書、保証書	

別売りアクセサリー一覧

本機には、別売りアクセサリーとして以下の製品が用意されています。

充電式リチウムイオンバッテリー D-LI7（※）

バッテリー充電器キット K-BC7J（※）

USBケーブル I-USB7（※）

AVケーブル I-AVC7（※）

ストラップ O-ST5（※）

ACアダプタキット K-AC7J（※）

カメラケース O-CC7

リモートコントロール F

（※）の製品は、カメラの同梱品と同じものです。

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か当社のお客様相談センターまたは、お客様窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかりと梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社お客様窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社お客様窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、当社のお客様窓口にご持参またはご送付ください。[保証期間中のみ有効]

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。
TEL 0120-737-919（フリーダイヤル）TEL 03-3975-4314（携帯・PHS用）
（受付時間：土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く9：00～17：00）
インターネット受付
URL：http://www.pentax.co.jp/japan/p_menu/service/

メモ

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

お客様相談センター（弊社製品に関するお問い合わせ）

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9
営業時間午前9：00～午後6：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）
0570-001313（市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話、PHSの方は、下記の電話番号をご利用ください。
☎**03-3960-3200**（代）　☎**03-3960-0887** デジタルカメラ専用

[ショールーム・写真展・修理受付]

ペンタックスフォーラム **☎03-3348-2941（代）**
〒163-0401 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1階（私書箱240号）
営業時間午前10：30～午後6：30（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

[修理受付]

ペンタックス札幌営業所お客様窓口 **☎011-612-3231（代）**
〒060-0010 札幌市中央区北10条西18-36 ペンタックス札幌ビル2階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス仙台営業所お客様窓口 **☎022-371-6663（代）**
〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-7-1 千代田生命泉中央駅ビル5階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス名古屋営業所お客様窓口 **☎052-962-5331（代）**
〒461-0001 名古屋市東区泉1-19-8 ペンタックスビル3階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス大阪営業所お客様窓口 **☎06-6271-7996（代）**
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス広島営業所お客様窓口 **☎082-234-5681（代）**
〒730-0851 広島市中区榎町2-15 榎町ビュロー 1階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス福岡営業所お客様窓口 **☎092-281-6868（代）**
〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-8 パールビル2階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ]

ペンタックスサービス（株）東日本修理センター **☎03-3975-4341（代）**
〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2 ペンタックス（株）流通センター内
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター **☎06-6271-7996（代）**
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）



for your
precious moments

ペンタックス株式会社
〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9
ペンタックス販売株式会社
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1

☆この説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57322
01-200308
Printed in Japan